

平成 22 年度事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

社団法人組込みシステム技術協会

【目次】

I.	法人の概況	1
II.	総括	5
III.	会務の概況	6
IV.	本部活動	10
V.	支部事業報告	30
VI.	付録	59

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和61年8月7日

2. 定款に定める目的

本会は、組込みシステム業（マイクロエレクトロニクスの技術を応用した製品とこれを用いたシステムの開発、製造及び販売の事業をいう。以下同じ。）におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進、権利の保護、調査研究等を行うことにより、組込みシステム業の技術の向上と利用者の利便性を高め、もってわが国産業の健全な発展及び国民生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進
- (2) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に係る権利保護に関する調査研究
- (3) 組込みシステム業に関する調査研究
- (4) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する研修会、研究会等の開催
- (5) 組込みシステム業に関する内外関係機関との連絡協調
- (6) 組込みシステム業のマイクロエレクトロニクス応用技術に関する普及啓発
- (7) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課

5. 日本標準産業分類

G3912 組込みソフトウェア業

6. 会員の状況

(平成23年3月31日現在)

種 類	当 期 末	前 期 末	前期末比増減
正 会 員	200 社	182 社	+ 18 社
賛助会員	36 社	32 社	+ 4 社
合 計	236 社	214 社	+ 22 社

7. 主たる事務所・支部の状況

(主たる事務所) 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12
東実年金会館 8 階

(支 部)

北海道支部 札幌市中央区北 2 条西 3 丁目-1
札幌ビルディング 4F

東北支部 宮城県仙台市青葉区昭和町 5-23
東杜シーテック(株)内

東京支部 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12
東実年金会館 8 階

中部支部 名古屋市熱田区六番 3-4-41
(財)名古屋産業振興公社内

北陸支部 福井市川合鷺塚町 61 字北稲田 10
(社)福井県情報システム工業会内

近畿支部 大阪市西区靱本町 1-8-4
(財)大阪科学技術センター内

九州支部 福岡市早良区百道浜 2-1-22-904
福岡 SRP センタービル

8. 役員等に関する事項

別紙のとおり

9. 職員に関する事項

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
3 名	0	48 歳 3 ヶ月	12 年 10 ヶ月

10. 許認可に関する事項

特になし

<別紙>

社団法人 組込みシステム技術協会 役員・顧問
(平成23年3月31日現在)

(役職)	(支部)	(氏名)	(常勤・非常勤)	(担当職務・会社名等)
会長	中部	松尾 隆徳	非常勤	東洋電機(株)
副会長	東京	長谷川恵三	非常勤	(株)セントラル情報センター
副会長	東京	塚田 英貴	非常勤	運営本部長/(株)エヌデーデー
副会長	東京	藤木 優	非常勤	ET事業本部長/(株)ブライセン
副会長	東京	築田 稔	非常勤	技術本部長/(株)コア
副会長	近畿	杉本 浩	非常勤	教育事業本部長/スキルインフォメーションズ(株)
専務理事	(員外)	門田 浩	常勤	(社)組込みシステム技術協会
常任理事	北海道	中野 隆司	非常勤	北海道支部長/(株)北斗電子
常任理事	東京	鈴木 茂昭	非常勤	アストロデザイン(株)
常任理事	東京	北原 慎庸	非常勤	(株)ビッツ
常任理事	中部	水谷多嘉士	非常勤	中部支部長/東海ソフト(株)
常任理事	中部	佐藤 博昭	非常勤	萩原電気(株)
常任理事	北陸	進藤 哲次	非常勤	北陸支部長/(株)ネスティ
常任理事	近畿	杉山 久志	非常勤	近畿支部長/(株)暁電機製作所
常任理事	近畿	大石 正則	非常勤	(株)シー・シェルコーポレーション
常任理事	九州	松尾 正博	非常勤	九州支部長/マイクロコート(株)
常任理事	九州	石井 四郎	非常勤	(株)デンケン
常任理事	(員外)	鈴木 龍一	常勤	事務局長/(社)組込みシステム技術協会
理事	東北	佐々木賢一	非常勤	東北支部長/トライポッドワークス(株)
理事	東北	本田 光正	非常勤	東杜シーテック(株)
理事	東京	馬場 民準	非常勤	ガイオ・テクノロジー(株)
理事	東京	宇賀神 孝	非常勤	アンドール システム サポート(株)
理事	東京	月原 優	非常勤	(株)東電ユークエスト
理事	東京	竹岡 尚三	非常勤	(株)アックス
理事	東京	郡山 龍	非常勤	(株)アプリックス
理事	東京	梶 一哉	非常勤	アイ・メットエレクトロニクス(株)
理事	東京	山田 敏行	非常勤	横河デジタルコンピュータ(株)
理事	東京	秋保 政一	非常勤	アルパイン(株)技術本部
理事	東京	漆原 憲博	非常勤	(株)ジェーエフピー
理事	東京	大橋 憲司	非常勤	東京支部長/(株)イーソルエンバックス
理事	東京	河井 研介	非常勤	東芝システムテクノロジー(株)
理事	東京	代市 昇	非常勤	東信システムハウス(株)
理事	東京	中村 憲一	非常勤	アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
理事	東京	廣田 豊	非常勤	TDI プロダクトソリューション(株)
理事	東京	渡辺 政彦	非常勤	キャッツ(株)
理事	東京	星 光行	非常勤	(株)システムファクト 東京支社
理事	東京	竹内 嘉一	非常勤	(株)日新システムズ 東京事務所
理事	中部	坂井 裕	非常勤	(株)ユタカ電子
理事	(員外)	飯塚 悦功	非常勤	東京大学
理事	(員外)	中島 達夫	非常勤	早稲田大学
理事	(員外)	片岡 正俊	非常勤	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
理事	(員外)	兼本 茂	非常勤	会津大学
理事	(員外)	福田 晃	非常勤	九州大学

監事	(員外)	宇田川重雄	非常勤	宇田川公認会計士事務所
監事	近畿	小幡 忠信	非常勤	アルカディアシステムズ(株)
顧問		種村 良平	非常勤	(株)コア
技術顧問		崎詰 素之	非常勤	(株)コア
参与		大原 茂之	非常勤	東海大学

理事： 43人（内訳：会長1人、副会長5人、専務理事1人、常任理事11人、理事25人）

監事： 2人

顧問： 2人

参与： 1人

II. 総括

平成 22 年度の組込みシステム技術協会は、JAPAN ブランドを支える業界団体として、組込み技術の調査研究、人材育成及び普及啓発を主軸に活発な活動を展開した。

運営本部では初めての試みとして、国際委員会にて、JASA グローバルフォーラム、国際化推進ワークショップ、協業推進委員会では、JASA 協業マッチング、また CSAJ との共同主催によるアライアンスビジネス交流会を開催し、いずれも参加者より好評を得ることができ、次年度以降に定例化する企画となった。

教育事業本部 ETEC 試験事業では、海外進出企業に対するニーズに応じ、国際化への準備、更に ETSS 準拠した新たな試験の実施に向け準備を進めた。また研修事業推進委員会ではキャリア形成促進助成金を利用した研修にて 36 名の受講者を得ている。

技術本部活動では 8 委員会が、それぞれのテーマで精力的な調査研究活動を行い、定期的なセミナー開催による啓発活動に加え、ET2010 セミナー会場にて成果発表することとなった。

また当協会の普及啓発事業の柱である組込み総合展示会 ET2010 も、ほぼ昨年同規模での開催となり、盛況のうちに幕を閉じることが出来た。

平成 22 年度重点事業項目

1. 組織の拡充改革実施
2. 公的機関の補助金・助成金事業の活用施策
3. ET 展示会及び、ET ロボコンの充実
4. 組込みソフトウェア技術者試験 (ETEC) の収益事業化
5. 組込み関連の最先端技術・基本技術の調査研究を推進
6. 支部活動活性化推進
7. 海外関連団体との連携強化推進 (台湾・中国・ベトナム)
8. 一般社団への移行準備
9. 平成 22 年度 (財) JKA 自転車等機械工業振興事業の実施

Ⅲ. 会務の概況

1. 総会

(1) 通常総会 (第 24 回) 平成 22 年 6 月 10 日 (木) 品川プリンスホテル

以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

- 1) 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告書 (案) 承認の件
- 2) 第 2 号議案 平成 21 年財務諸表 (案) 承認の件
- 3) 第 3 号議案 平成 22 年度事業計画書 (案) 承認の件
- 4) 第 4 号議案 平成 22 年度収支予算書 (案) 承認の件
- 5) 第 5 号議案 定款改正 (案) 承認の件
- 6) 第 6 号議案 理事退任報告及び選任の件

2. 理事会

平成 22 年 5 月 20 日から平成 23 年 3 月 17 日にわたり、計 5 回の理事会を開催。

(1) 第 154 回理事会 平成 22 年 5 月 20 日 (木) 於 仙台商工会議所 7F 大会議室
議 事

- (1) 支部活動報告 (北海道、東北、東京、中部、北陸、近畿、九州) 【報告】
- (2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部) 【報告】
- (3) 新入会員の承認【正会員 9 社、賛助会員 1 社】及び退会企業の報告 【審議・報告】
 - ① 株式会社アキタ電子システムズ (正会員/東北)
 - ② バイスリープロジェクト株式会社 (正会員/東北)
 - ③ 株式会社 S J C (正会員/東北)
 - ④ 株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ (正会員/東北)
 - ⑤ T D I プロダクトソリューション株式会社 (正会員/東京)
 - ⑥ 株式会社ソフトウェア研究所 (正会員/東京)
 - ⑦ 有限会社アラタ (正会員/東京)
 - ⑧ 株式会社ハーベル (正会員/東京)
 - ⑨ 株式会社 U 洛 (正会員/近畿)
 - ⑩ 株式会社パートナー (賛助会員)
- (4) H21 年度収支決算案及び 22 年度予算案について 【審議】
- (5) H21 年度事業報告案及び 22 年度事業計画案 【審議】
- (6) 役員退任の件 【報告】
- (7) 役員選任の件 【審議】
- (8) 一般社団移行に向けて～移行スケジュール案について 【報告】
- (9) H22 年度 JKA 補助事業の決定について 【報告】

(2) 第 155 回理事会 平成 22 年 6 月 10 日 (木) 於 品川プリンスホテル
議 事

- (1) 役員の選任について 【審議】
- (2) 顧問の推薦について 【審議】

- (3) 委員会の新設について 【審議】
- (4) 通常総会資料一式のご確認 【確認】
- (5) その他
 - ・ 主催、共催、後援、協賛等に関する取扱い規程 【報告】
 - ・ 委員会規程の改定 【報告】
 - ・ H22 年度 役員会・行事予定表（案） 【確認】

(3) 第 156 回理事会 平成 22 年 9 月 16 日（木） 於 東実年金会館 4 階大会議室
議 事

- (1) 支部活動報告（北海道、東北、東京、中部、北陸、近畿、九州） 【報告】
- (2) 事業本部報告（運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部） 【報告】
- (3) 新入会員の承認【正会員 3 社、賛助会員 2 社】 【審議】
 - ① ヒューマンズ・ネット株式会社 （正会員／東京）
 - ② 株式会社 D T S （正会員／東京）
 - ③ 株式会社 ビジュアルソフト ソリューションビジネス事業部 （正会員／北陸）
 - ④ 九州地域組込みシステム協議会 （賛助会員／九州）
 - ⑤ マイクロソフト株式会社 （賛助会員／東京）
- (4) H22 年度本部委員会組織について 【報告】
- (5) H23 年度（財）JKA 自転車等機械工業振興事業について 【報告】
- (6) 一般社団移行に向けて 【協議】
 - ・ 定款の変更
 - ・ 公益目的支出計画
- (7) 臨時総会の報告 【報告】
- (8) 第一生命の割当株式の配分に関する承認 【審議】
- (9) その他
 - ・ 後援、協賛等受諾の報告 【報告】
 - ・ 平成 22 年度 役員会・行事予定について 【報告】

(4) 第 157 回理事会 平成 22 年 12 月 1 日（水） 於 パシフィコ横浜 会議センター
議 事

- (1) 支部活動報告（北海道、東北、東京、中部、北陸、近畿、九州） 【報告】
- (2) 事業本部報告（運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部） 【報告】
- (3) 新入会員の承認【正会員 1 社、賛助会員 1 社】 【審議】
 - ① テセラ・テクノロジー株式会社 （正会員／東北）
 - ② 組込みシステム産業振興機構 （賛助会員／近畿）
- (4) H22 年度上期収支状況について 【報告】
- (5) 一般社団移行に向けて 【協議】
 - ・ 新定款について
 - ・ 公益目的支出計画立案の説明
- (6) 総務委員会より 【協議】
 - ・ 支部規約変更案
 - ・ 著作権規程案

(7) その他

- ・後援、協賛等受諾の報告 【報告】
- ・平成23年度 役員会・行事予定について 【報告】

(5) 第158回理事会 平成23年3月17日(木) 於 京王プラザホテル南館
議 事

- (1) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET事業本部) 【報告】
- (2) 支部活動報告 (北海道、東北、東京、中部、北陸、近畿、九州) 【報告】
- (3) 新入会員の承認【正会員1社】及び、退会報告 【審議・報告】
 - ① 株式会社ダイナテック (正会員/北陸)
 - ② 株式会社日新システムズ 東京事務所 (支部会員/東京)
- (4) 会員代表者変更に伴う理事の交代 【審議】
旧 河井研介 → 新 池田義雄 (東芝システムテクノロジー株式会社)
- (5) 平成22年度 決算見込みについて 【報告】
- (6) 平成23年度 事業本部別予算案について 【協議】
- (7) 平成23年度 組織体制について 【協議】
- (8) 平成23年、24年度 役員候補者の自薦、他薦について 【報告】
- (9) 一般社団移行に向けて 【協議】
- (10) 総務委員会より
 - ・著作権規程案 【協議】
- (11) H22年度事業報告書、H23年度事業計画書(案) 提出について 【依頼】
- (12) その他
 - ・JPCA ショウの出展及び、EDSFair 同時開催について 【報告】
 - ・後援、協賛等受諾の報告 【報告】

3. 会員の変動状況

前年度期末会員数は、正会員182社、賛助会員32社の合計214社であった。期中において、正会員23社、賛助会員5社の増加があったが、正会員5社、賛助会員1社の減少があったため、本年度期末会員数は、正会員社200社、賛助会員36社の合計236社となった。

新入会員

(正会員)

1. 株式会社アキタ電子システムズ
2. バイスリープロジェクト株式会社
3. 株式会社S J C
4. 株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ
5. T D I プロダクトソリューション株式会社
6. 株式会社ソフトウェア研究所
7. 有限会社アラタ
8. 株式会社ハーベル
9. 株式会社U洛
10. ヒューマンズ・ネット株式会社

11. 株式会社DTS
12. 株式会社ビジュアルソフト ソリューションビジネス事業部
13. テセラ・テクノロジー株式会社

(賛助会員)

1. 株式会社パートナー
2. 九州地域組込みシステム協議会
3. マイクロソフト株式会社
4. 組込みシステム産業振興機構

IV. 本部活動報告

平成 22 年度事業の推進は下表の本部組織にて行った。

平成 22 年度 JASA 事業本部組織表

本部名	委員会/研究会名	WG名	公益支出事業
運 営 本 部	総務委員会		
	組織改革委員会	公益法人改革WG	
		支部設立WG	
	広報委員会	機関誌発行 WG	事業番号 1
		HP 管理 WG	
	会員拡大推進委員会		
	国際委員会		事業番号 1
協業推進委員会		事業番号 1	
教育事業本部	ETEC 試験委員会	問題作成 WG	事業番号 2
	研修委員会		事業番号 2
	研修事業推進委員会		
	標準化推進委員会		
技 術 本 部	技術セミナー委員会		事業番号 5
	安全性向上委員会	セキュリティ WG	事業番号 4
		製品安全 WG	
	OSS 活用委員会	OSS ライセンス WG	事業番号 3
		組込み仮想化技術 WG	
	実装品質強化委員会	機能要件WG	事業番号 3
		非機能要件WG	
	ハードウェア研究会		事業番号 5
	プラットフォーム研究会		事業番号 5
状態遷移設計研究会		事業番号 3	
制御設計研究会		事業番号 3	
ET 事業本部	ET 実行委員会		
	ET West 実行委員会		
	ET ロボコン実行委員会		

〈参考〉 公益支出事業

- 事業番号 1 組込み技術を普及するための海外及び国内の調査研究
- 事業番号 2 組込み技術を担う技術者育成のための能力試験およびセミナーの実施
- 事業番号 3 開発高度化事業
- 事業番号 4 安全・安心関連事業
- 事業番号 5 技術啓発・人材育成事業

1. 運営本部

1. 組織改革委員会

1-1. 公益法人改革WG

平成 23 年度末に一般社団移行に向け、一般社団向け定款案の作成と公益目的支出計画を策定した。(本総会における審議事項として、詳細を説明する。)

1-2. 支部設立WG

2010 年度活動計画・日程等

	開催予定	時間	予 定 内 容	議題
第 1 回	2010 年 6 月 23 日 (水)	10:30 ～ 12:15	年度活動目標と活動計画・ 日程等について	・支部設立の目的確認 ・新支部設立の候補地域検討 ・2010 年活動目標、その他
第 2 回	2010 年 8 月 19 日 (木)	13:00 ～ 14:45	支部設立に向けての検討 (新会員会社候補案作り 等)	・会員増強に向けて ・四国、中国支部可能性検討と入会対象 企業の洗い出し
第 3 回	2010 年 9 月 29 日 (水)	10:30 ～ 11:45	中四国支部設立に向けての 検討 (新会員会社候補案作 り等) 進捗チェック	・四国支部設立の可能性 ・中国地方の JASA 入会勧誘活動について
第 4 回	2010 年 11 月 15 日 (月)	15:50 ～ 17:00	〇〇支部設立趣意書の作 成・確認 運営等打合せ	・中国、四国支部設立の可能性検討 ・方向性の確認 ・四国組込みセミナー開催の検討
セ ミ ナ	2011 年 1 月 26 日 (水)	14:00 ～ 18:45	四国経済産業局との共催セ ミナー開催	・四国経済産業局情報政策室主催 JASA 共 催セミナー「組込みシステム高度化セミ ナー」高松にて開催
第 5 回	2011 年 3 月 30 日 (水)	15:15 ～ 16:30	活動報告書まとめ 等	・平成 23 年度事業計画・予算案について 他

2. 広報委員会

2-1. 機関誌発行WG

協会機関誌「Bulletin JASA」を 4 回発行した。

協会広報誌として情報発信機能を強化し、併せて会員連携の促進と新規会員勧誘の機能を具備した有効なメディアとして記事内容の拡充を図った。

6 月 9 日 Vol. 34 発行/ET West 会場配布号

9 月 16 日 Vol. 35 発行

11 月 30 日 Vol. 36 発行/ET2010 会場配布号

2-2. HP 管理 WG

技術セミナー委員会とメンバーを共通化し、毎月定例会を開催した。

協会活動を啓発するため、協会事業、会員情報、コラムや書籍案内等を掲載し、迅速な情報発信を行った。

HP コラム欄の「組込み NOW」の番外編として、「組込み Future」を企画し、会員企業の若手技術者の交流と意識向上をはかるために、アンケートと座談会を開催した。

いずれも Bulletin JASA のコンテンツとして Vol.35 (アンケート)、Vol.37 (座談会) を掲載し、HP にも掲載した。

出席者には非常に好評で、今後も継続・発展させていくことで、コンテンツの成功例としたい。

3. 会員拡大推進委員会

支部設立による会員拡大を狙い、支部設立 WG 活動と連携し、中国経産局主催「ちゅうごく地域組込みシステムフォーラム」及び、四国経産局主催「組込みシステム高度化セミナー」にて JASA 活動のプレゼンテーションを実施した。

4. 国際委員会

◆ 国際委員会の定期開催

- ・ 委員会を隔月に計6回開催。
- ・ 昨年度新設委員会として検討した年間活動計画案の実現に向けて、具体化検討と実行準備、活動の実行、実行後の課題検討を行った。
- ・ 毎回識者を委員会に招き、委員会としての課題を探るため「委員会スピーチ」を行った。

◆ 「委員会スピーチ」の実施

- (1) 「ジェトロの支援スキーム紹介」 (4月22日)
日本貿易振興機構(JETRO) 先端技術交流課長 神野達雄氏、一瀬友太氏
- (2) 「印度 ICT 企業の開発事例の紹介」 (6月15日)
ジェネシス(株) 代表取締役 西山征夫氏
- (3) 「デンマークと新規事業分野における協業可能性について」 (9月2日)
デンマーク大使館 インベストメント・マネージャー 中島健祐氏
- (4) 「わが社の海外戦略と実践」 (10月20日)
(株)デンケン 代表取締役 石井四郎氏
- (5) 「インドと南アジア IT 事情」「アジア域内の IT 動向概況」 (12月15日)
(財)国際情報化協力センター 国際情報化研究所副所長 丸藤康芳氏、川村知子氏
- (6) 「国際的なプロジェクトにおける調査交渉術について」 (H23年2月23日)
東芝システムテクノロジー(株) 顧問 河井研介氏

◆ 第1回「JASA グローバルフォーラム」の開催

- ・ 日本国内での海外協会との交流促進と、国内企業へのグローバル情報の提供を目的に、「JASA グローバルフォーラム」を企画し、第1回フォーラムを開催した。

- ・ ET2010 の併催イベントとして、12月2日に パシフィコ横浜会議センター で開催。経営に携わる方を中心に 130 名が参加。
- ・ テーマ「台湾・ベトナム企業とのコラボレーションを探る」
- ・ 講演
 - 「中国におけるビジネス展開で台湾企業の強みを生かす」
台北市コンピュータ協会(TCA) 東京事務所 駐日代表 吉村章氏
 - 「ベンチャー企業の台湾活用事例」
(株)シロク 東京営業所 所長 高橋貞行氏
 - 「ベトナム企業とのコラボレーションの秘訣」
(株)アストミルコープ 代表取締役 武田悠貴彦氏
 - 「ベトナムソフトウェア協会(VINASA)活動紹介とベトナム企業からのメッセージ」
ルビナソフトウェア(株) 代表取締役 レ・クアン・ルオン氏
- ◆ 第1回「JASA 国際化推進ワークショップ」の開催
 - ・ 会員企業及びJASA 外部企業の海外進出に関する情報提供の一環として「JASA 国際化推進ワークショップ」を企画し、第1回ワークショップを開催した。
 - ・ 国際委員会/JASA 東京支部共催でH23年2月10日に 東実年金会館4階会議室 で開催。約50名が参加。
 - ・ テーマ「オフショア・ソフトウェア開発の展望
～委託側と受託側の相互理解を深めるために～」
 - ・ 基調講演
 - 「オフショア・ソフトウェア開発の進化・深化・親化を目指して」
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 辻洋氏
 - 事例紹介
 - 「海外生産展開」
東信電気(株) EMS 営業部 部長 天野武正氏
 - 「当社企業グループの海外市場展開～中国合弁企業機能の活用」
東洋電機(株) 代表取締役社長 松尾康男氏
 - 「ブライセンが経験した海外事業」
(株)ブライセン 代表取締役社長 藤木優氏
- ◆ 海外協会への委員派遣
 - ・ 海外協会との交流を促進するため、委員会委員を含めた一般公募により、海外協会に派遣し、成果を公表した。
 - ・ 台北市コンピュータ協会(TCA)
 - 台湾 台北市 へ 6月2日～6月5日 派遣。
 - 台北市コンピュータ協会(TCA)および台湾組込み産業連盟(TEIA)と意見交換。
 - 台北市コンピュータ協会(TCA)主催の Computex TAIPEI 2010 に参加。
 - ・ ベトナムソフトウェア協会(VINASA)
 - ベトナム ホーチミン市・ハノイ市 へ 9月26日～10月1日 派遣。
 - ベトナムソフトウェア協会(VINASA)主催の JAPAN-ICT DAY 2010 に参加し、日本の組込み事情について講演。
 - ホーチミン市7社、ハノイ市5社のベトナム IT 企業を訪問し意見交換。
 - 情報サービス産業協会(JISA)からの誘いで、JISA ベトナムミッションに加わり派遣。

- ◆ JASA ホームページ「JASA 国際だより」・機関誌「Bulletin JASA」への投稿
 - ・ 会員企業及び JASA 外部に対する情報提供と情宣活動への貢献のため、委員会からの情報発信を行った。
 - ・ JASA ホームページ「JASA 国際だより」
 - ① 台北市コンピュータ協会(TCA)との意見交換会と Computex TAIPEI 視察報告
 - ② ベトナム視察ミッション参加報告
 - ③ 第1回『JASA グローバルフォーラム 2010』参加報告
 - ④ 第1回『国際化推進ワークショップ』開催報告
 - ・ 機関誌「Bulletin JASA」
 - ① JASA 国際だより ベトナム視察ミッション参加報告(vol. 36)
 - ② JASA 国際だより 第1回『JASA グローバルフォーラム 2010』参加報告(vol. 37)
- ◆ 海外 IT 関連団体来訪等への対応
 - ・ 成都天府ソフトウェアパーク (5月)
 - ・ ベトナムソフトウェア協会(VINASA) (5月)
 - ・ 中国国際ソフトウェア・インフォメーションサービスフェア(CISIS) (9月)
 - ・ エンベデッド・チャイナ(上海) (11年2月)
 - ・ 台北市ソフトウェア協会(TCA) (6月)
- ◆ H23 年度事業計画の策定

5. 協業推進委員会

◆ 活動概要

組込みシステム企業が持つものづくり力と協業力を高めるための事業を企画・実施する。

- (1) 組込みシステム企業間の連携を促進する事業
- (2) 会員以外の企業や各種業界団体、公的機関等との連携強化を図る事業

◆ 活動詳細

2010/05/19 (水) 第4回委員会

- ・ 川上・川下ネットワーク事業計画策定

中小企業基盤整備機構の川上・川下ネットワーク構築支援事業に公募

〈企画概要〉

コーディネータを東日本・中部(含む北陸)・近畿・九州(含む沖縄)に設置して、各地域で交流会を開催する。

- ・ CSAJ アライアンスビジネス交流会視察報告

2010/07/16 (金) 第5回委員会

- ・ 川上・川下ネットワーク構築支援事業(中小企業基盤整備機構)不採択

- ・ CSAJ との情報交換会報告

- ・ JASA 主催協業マッチングイベント企画準備

2010/09/17 (金) 第6回委員会

- ・ 第1回 JASA 協業マッチング企画策定

- ・ CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会企画

2010/10/20 (水) 第7回委員会

- ・ 第1回 JASA 協業マッチング運営準備

- ・ CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会応募状況

2010/11/09 (火) 第1回 JASA 協業マッチング開催

第一部：発表会 15時～17時半（東実年金会館4階大会議室）

基調講演「準天頂衛星みちびき」JAXA プロジェクトリーダー寺田弘慈氏
プレゼン4社(JFP、アンドールシステムサポート、東杜シーテック、DTS)

第二部：交流会 17時半～19時（東実年金会館3階会議室）

2010/11/16 (火) 第8回委員会

- ・第1回 JASA 協業マッチング実施報告
- ・CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会対応準備

2011/02/16 (水) CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会

16時～19時:トスラブ大久保会議室

プレゼン4社中2社が JASA 会員企業(ミントウェーブ、ネスティ)

2011/02/18 (金) 第9回委員会

- ・CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会実施報告
- ・平成23年度事業計画策定

2011/03/29 (火) 第10回委員会

- ・平成23年度事業計画修正案
- ・新規の協業支援施策の検討

◆ 活動成果

□第1回 JASA 協業マッチング(2010/11/09)

東実年金会館にて開催。聴講者80名(会員・一般)

基調講演「準天頂衛星みちびき」JAXA プロジェクトリーダー寺田弘慈氏

プレゼン4社(JFP、アンドールシステムサポート、東杜シーテック、DTS)ともに聴講企業から問合せ・引き合いがあり、委員会で紹介中。

また、聴講者アンケート結果より、機会拡大と定例化を強く求められた。

□CSAJ/JASA 合同開催アライアンスビジネス交流会

関東 IT 健康保険組合の会議室にて開催。聴講者59社72名

プレゼン4社の JASA 会員企業2社(ミントウェーブ、ネスティ)には、ともに10社以上から引き合いがあり、委員会より引き合い企業を紹介中。

CSAJ アライアンスビジネス委員会と今後も継続的に合同開催を進めることで意見が一致した。

2. 教育事業本部

今年度は業界の認知度をあげるため、積極的にセミナーや広報活動を行い、組込みシステム技術の普及啓発を行ってきた。大きな課題であった ETEC 事業の黒字化は実現でき、高専への展開など新たな普及施策が動き出している。また、新しい試験制度の開発に関しては、試験方式の検証に時間がかかり今年度の実施は見送り来年度以降の課題となった。新入社員研修ハロプロ 10 は、昨年度と同じく東京、大阪で無事に実施でき大きな成果を挙げた。H23 年度ハロプロ 11 は各社採用人数の削減などにより参加受講生の減少が見られた。

委員会構成は平成 21 年度同様、ETEC 試験委員会・研修事業推進委員会・研修委員会・標準化推進委員会の 4 つで構成し事業を推進した。

(達成度： ○達成できた △実施途中である ▲不十分である X活動できなかった)

1. ETEC 試験委員会

(1) ETEC 試験事業収益モデルの改善と試験品質の向上

△ ETEC 受験者数の予実報告体制の構築

目標：年間受験者数 1800 名以上 収益目標：黒字化の定着

成果：年間販売数 1653 名 (1753 名) 収益は ETEC 単体では黒字化達成

(年度末の先行受注は含まないように修正)

○ 収益モデルの改善 (ETEC 試験実施方法の追加)

試験実施会社試験会場(プロメトリック)でのオンライン受験以外にオンサイトにて実施できるサーバー方式の運用形態を複数回実施、運用面の利便性、収益面改善を図った。

○ 試験品質の向上

昨年度実施した ETEC 試験問題の分析結果を踏まえて、20 問題の入替えを実施し、問題品質の向上を図った。

(2) ETEC 受験者数拡大のための各種施策

・ ETEC 試験普及と受験者数増加への各種施策の検討、実施

△ ET ロボコン参加企業への ETEC ロボコン企画 (6 チームの参加)

▲ ET 展出展企業への JASA 入会促進とあわせての ETEC 普及活動

△ 全国主要高専への ETEC 試験の普及活動

沖縄、仙台、鶴岡で普及活動を実施、H23 年度受験確定

○ ETEC 活用セミナーでの事例紹介などの実施

東京でのセミナー 46 名の参加 ETWEST、ET 展デモコーナーを展示

△ ハロプロ受講者への新規受験、再受験プロモーション企画

就職活動で利用できる ETEC としてのプロモーションプランの作成

具体的な実施は H23 年度とする

(3) 現行 ETEC 試験の ETSS 準拠の検討

▲ 現行 ETEC 試験制度の ETSS 準拠にするための検討・実施活動を行う

基本計画を策定し、プレ実施を目指したが、試験問題作成の遅れと試験運用体制の検証に多くの時間がかかっており、今年度の実施は見送った。

来年度、組込みスキルマネジメント協会からの協力を得て、試験実施方法の検証を進めていくことにした。

2. 研修事業推進委員会

(1) 平成22年度ハロプロ新入社員研修の実施

○平成22年度のハロプロ新入社員研修の運営、OJT指導ならびに助成金支給の支援を行い、申請した会員企業全社の助成金受給に向けた支援を実施した。

H22年度参加企業： 東京) 10社 28名 名古屋1社 1名 大阪) 5社 7名

また、H23年度に実施に向けてカリキュラムの一部見直し、各講座間のすりあわせを実施することで研修成果を高めることができる体制を構築した。

H23年度参加企業： 東京) 5社 12名 大阪) 3社 6名

(2) 助成金を活用した研修カリキュラムの拡充

X 要望の多かったハードウェア研修に関する検討は実施できなかった。

3. 研修委員会

■ 活動概要

2009年度に実施した企業アンケートより企業側期待スキルと採用社員保持スキルとのギャップがあることが判明したことから、より優秀な学生が組込み業界へ求職するよう、当委員会では教育機関の先生/学生への組込み基礎スキルの啓発を実施した。

活動を出来る限り国などの助成金を獲得できるように、各種関連機関(経産省/文科省/厚労省など)との連携を模索したが、結果は不採択となり、独自活動となった。

■ 活動詳細

★内部活動

以下について定例会議10回、臨時会議2回を実施した。

- ・啓発活動について
- ・報告書作成について
「新入社員に求める組込み技術知識について」アンケートからの分析
- ・インターンシップガイドライン作成について
- ・ET2010、ET West2010 プレゼンテーションについて

★対外活動

2010/5/31(月) 職能大セミナー、受講者約150名

6/18(金) ET-West2010 オープンステージプレゼンテーション

受講者50名に資料を配布(着席者20名のみアンケートを集計)

9/28(月) 23年度新規雇用に関するアンケート実施

(研修事業推進委員会と合同実施)

10/5(火) 岩崎学園とカリキュラム検討会実施

10/29(金) 岩崎学園・横浜校でのセミナー実施(就活中の学生対象、約25名)

12/1(水)/3(金) ET2010 オープンステージプレゼンテーション

「組込み教育の現状と課題」と題したプレゼン実施

2日間合計100名に資料配布、アンケート回収75

2010/12/15(水) 岩崎学園・横浜校で講演、学生200名(1年生中心)

2010/1/28(金) 岩崎学園・新横浜校で講演、2012年3月卒業予定学生、約30名

2011/2/19(土) 岩崎学園・新横浜校「卒業研究代表者発表会」審査メンバに参加

■ 活動成果

- 職能大や岩崎学園の学生に、啓発セミナーを実施
- ET-West2010、ET2010 にて、アンケート分析結果に基づくプレゼンを実施
- 教育機関向けの広報活動として、大学／専門学校に「Bulletin JASA」を配布
- 「新人社員に求める組込み技術知識について」アンケート分析及びその開示 (Web)
- インターンシップガイドラインの作成及びその開示 (Web)

3. 技術本部

■ 活動概要

- 22年度から各委員会研究会毎に事業計画と予算を作成、推進することとなった
- 技術本部は、年6回の本部会議を実施した。
2010/5/18(火)、7/13(火)、9/7(火)、11/2(火)、12/21(火)、3/8(火)
- 技術本部予算ヒアリングの実施 2010/4/20(火)
- 成果発表会の実施 2010/5/18(火)
各委員会・研究会の昨年度の成果発表会を実施し、会員企業及び外部企業への成果普及に努めた。
(参加者約60名) また優良発表の委員会(ハードウェア委員会、セキュリティWG)は総会にて成果の概要を発表した。
- 経産省商務情報政策局情報政策課総括係長依田圭司氏の講演実施 2010/7/22(木)
「情報経済革新戦略」～情報通信コストの劇的低減を前提とした複合新産業の創出と社会システム構造の改革～
- ET2010 技術本部セミナーの実施 2010/12/1(水)

【プログラム】

11:00～11:20 状態遷移設計研究会

受講数：56名(内会員4名、内一般52名)

「状態遷移表設計によるソフトウェア・プロダクトライン」

キャッツ株式会社 小磯 博司 氏

11:20～11:50 制御設計研究会

受講数：44名(内会員3名、内一般41名)

「連続系と離散系の統合モデリングと標準化」

キャッツ株式会社 目時 伸哉 氏

12:30～13:20 実装品質強化委員会

受講数：61名(内会員7名、内一般54名)

「組込みソフトウェアの実装品質の課題/ツール活用の実態報告」

アルパイン株式会社 秋保 政一 氏

13:30～14:20 ハードウェア研究会

受講数：40名(内会員15名、内一般25名)

「私の研究開発マネジメント論」

早稲田大学 山田 宰 氏

14:30～17:30 安全性向上委員会 製品安全WG

受講数：132名(内会員29名、内一般103名)

「組込みシステムにおける安全設計」

東芝システムテクノロジー株式会社 金田 光範 氏

「組込みシステムにおける機能安全設計の基本」

独立行政法人 産業技術総合研究所 水口 大知 氏

「機能安全の将来動向と教育体系」

会津大学 兼本 茂 氏

1. 技術セミナー委員会

■ 活動概要

2010年度を通じて7回のJASA/ETセミナーを運営。
他に地方開催セミナーを4回開催（JKA補助金対象事業）

■ 活動詳細

セミナー運営、企画、検討会議を年10回開催した。
2010/4/13(火)、5/21(金)、6/25(金)、7/28(水)、9/8(水)、10/6(水)、12/20(月)、2011/1/26(水)、
2/23(水)、3/29(火)

◎JASA/ETセミナー

第19回（補助事業）2010/4/27(火)

『機能安全の新たな展開～IEC61508改訂版とISO26262の最新動向～』

講師：東京海洋大学 佐藤 吉信氏

講師：テュフズードジャパン(株) 竹市 正彦氏

受講数：57名（内会員25名、内一般32名）

第20回（補助事業）2010/6/21(月)

『製品安全への取り組み、先行事例紹介～医療電気機器の安全への取り組みとドイツ産業機器の安全への取り組み』

講師：地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 岡野 宏氏、

講師：シーメンス(株) 雨宮 祐介氏

受講数：21名（内会員14名、内一般7名）

第21回 2010/7/29(木)

『EPM (Empirical Project Monitor) を活用したプロジェクトの「見える化」』

講師：情報処理推進機構(IPA) 神谷 芳樹氏

講師：キャッツ(株) 宮本 貴之氏

受講数：24名（内会員16名、内一般8名）

第22回（補助事業）2010/8/23(月)

『セーフウェアと形式手法の実践的試み』

講師：(株)日本機能安全 吉岡 律夫氏

講師：名古屋市工業研究所 小川 清氏

受講数：31名（内会員10名、内一般21名）

第23回 2010/9/15(水)

『ソフトウェアアーキテクチャによる品質実現手法』

講師：イーソル(株) 宇佐美 雅紀氏

講師：イーソル(株) 古川 剛彦氏

受講数：19名（内会員5名、内一般14名）

第24回 2010/10/15(金)

『自動車等組込みシステムのセキュリティ技術』

講師：情報処理推進機構(IPA) 中野 学氏

講師：情報処理推進機構(IPA) 小林 偉昭氏

講師：情報処理推進機構(IPA) 萱島 信氏

受講数：28名（内会員15名、内一般13名）

第25回 2010/11/19(金)

『SPLとXDDPによる多品種開発の品質と生産性の向上～一見矛盾する2つのアプローチの関係をどう捉えるか～』

講師：(株)システムクリエイツ 清水 吉男氏

講師：九州大学 中西 恒夫 准教授
講師：(株)日立情報制御ソリューションズ 桜庭 恒一郎氏
講師：(株)東芝 藤井 誠氏
受講数：83名（内会員21名、内一般62名）

◎地方開催（補助事業）

(1)ET WESTにて2010/6/17(木)～18(金) インテックス大阪 5号館

【テクニカルセッション】

- ①組込みソフトウェアテスト設計のエッセンス
- ②リアルタイムOS入門
- ③組込みソフトウェア開発の基礎
～組込みソフトウェア開発に必要な概念と実装方法～
- ④自動車用機能安全規格 ISO26262 の組込み技術視点からの解説

(2)フロンティア 21 エレクトロニクスショー2010にて2010/11/11(木)
名古屋国際会議場

【組込みシステム技術セミナー】

- ①ものづくり試作支援における機能安全支援ツールの試作と課題
- ②インテリジェント多機能リレーの試作開発
－配電盤分野におけるIT化への取り組み－
- ③組込みソフトウェア開発における検証環境の試作開発
- ④アプリケーション駆動管理プラットフォームの試作開発
－リアルタイム制御の難易度を下げるための方策－

(3)「東北ITソリューション EXPO2010」会場にて2010/11/12(金)
仙台市 アエル6F セミナーホール2

【基調講演】

- ①コンピュータビジョンが拓く組込みアプリケーションの世界
- ②スマート&グリーン時代のIT
- ③組込み産業イノベーションの方向性

(4)ET2010にて2010/12/1(水)～3(金)パシフィコ横浜

【テクニカルセッション】

- ①自動車用機能安全規格 ISO 26262 最新解説
- ②ソフトウェアテストの基本～グローバルスタンダードから
- ③マルチコア時代の並列プログラミングとデジタルテレビにおける実践
～<CELL レグザ>の事例を中心に～
- ④XDDPによるプロセス改善の最前線
- ⑤メトリクスによるソフトウェアの定量的品質評価
- ⑥画像認識・コンピュータビジョンで広がる組込みシステムの世界

2. 安全性向上委員会

■ 活動概要

安全性向上委員会は、2つのテーマを各WGに分けて活動を進め、その成果を調査報告書「組込みシステムにおける情報セキュリティ対策および機能安全に関する調査研究」にまとめて発行した（JKA補助事業）。

年8回の会議を実施。

2010/4/16(金)、6/25(金)、7/16(金)、9/17(金)、10/22(金)、12/17(金)、2011/1/21(金)、2/18(金)

2-1. 製品安全 WG

■ 活動概要

昨年度まで、3年にわたり、機能安全の基本事項と関連規格の調査研究を進めてきた。また、啓発活動として、機能安全関連製品調査と安全用語集の整備に注力してきた。

2010年度は、それらの成果を踏まえ、安全設計の事例研究の継続、IEC 61508（2010年4月第二版発行）の調査、ISO26262（2011年7月発行の計画）の動向調査を実施した。また関連製品調査と用語集整備も継続実施した。

2010年7月には、これまでの成果報告書をベースに、組込み技術者向けに安全設計入門書を出版し、12月には、技術本部主催のET2010併設セミナーにて、3時間枠を頂き安全設計の解説を開催した。定員（150名）を超える申し込みがあり、たいへん好評であった。さらに ISO 26262 の膨大な規格書の中からツールに絞って、アドホック WG を起こし調査・対応を議論した。

年9回の会議を実施。

2010/4/16(金)、6/25(金)、7/16(金)、9/17(金)、10/22(金)、11/17(水)、12/17(金)、2011/1/21(金)、2/18(金)

2-2. セキュリティ WG

■ 活動概要

H22年度は、本セキュリティワーキンググループは組込みシステムの技術的側面に焦点を当てると共に、外部専門機関との連携を模索し、その成果を報告書にまとめた。その概要は、IPAの『ガイド』をもとにセキュリティ技術の調査を通じてセキュリティに関するハードウェアの知見を会員に紹介するものである。また、会員企業へのセキュリティ対策アンケートを実施した結果や、IPAの講演実施内容、本WGのメンバーによるセキュリティに関する最近の議論を展開した結果などもまとめた。

年10回の会議を実施。

2010/4/16(金)、6/25(金)、7/16(金)、9/17(金)、10/14(金)、10/22(金)、11/17(水)、12/17(金)、2011/1/21(金)、2/18(金)

3. OSS 活用委員会

■ 活動概要

組込み分野における OSS 活用について、本委員会が何をすべきか、議論した結果、OSS ライセンス WG と組込み仮想化 WG を発足し、活動を開始した。

■ 活動詳細

2010/7/1(木) 第1回会議

- ・各WGの活動について検討

2010/8/18(水) 第2回会議

- ・委員会内セミナー「仮想化技術について」

講師：バーチャロジックス(株) (現レッドベンド・ソフトウェア・ジャパン(株))

川口 幸裕氏

2010/10/27(水) 第3回会議

- ・各WGの活動について検討

3-1. OSS ライセンス WG

■ 活動概要

H22年度は活動なし。

3-2. OSS 仮想化 WG

■ 活動概要

日本の組み込み仮想化市場の発展、拡大について議論を行った。
本年度の活動とし、仮想化技術の実態調査とし、提供している各社の比較表を作成し、一般に公開する予定。

■ 活動詳細

2010/10/27(水) 第1回会議

・WG で何をすべきかを論じ、直近は、技術的な啓蒙を行う資料づくりを実施していくことで合意された。

2010/11/24(水) 第2回会議

- ・啓蒙資料の内容について議論した。
 - 1) 比較を行う。比較の基準を作る。
 - 2) 分類方法を考える。
 - 3) 用語集を作り、業界の共通語を固める。

2011/1/7(金) 第3回会議

・仮想化技術比較表作成に対する討議を実施した。
比較表とは別に、各社の仮想化技術、製品を、細かく説明するシートのたたき台ができ、それについて議論した。

2011/2/10(木) 第4回会議

・3回会議の引き続き比較表作成に対する討議を実施した。
RedBend 社の製品 VLX のデモと技術解説をして頂いた。
ルネサスエレクトロニクス社の仮想化技術の取り組みの説明を頂いた。

■ 活動成果

各仮想化技術製品の比較表(第一版)を作成した。

4. 実装品質強化委員会

■ 活動概要

委員会は、組み込みソフトウェアの実装品質を強化するため、現状の課題を整理し、JASA 会員企業及び会員外企業が実装品質を強化するための施策をガイドラインとして提供することを目的に活動を実施した。特に、将来組み込みソフトウェアでも課題となる非機能要件に着目し、品質特性の定義および検証方法の明確化を最終目標に設定した。

本委員会の1年目(H22年度)、2年目(H23年度)の成果を下記のように定義した。

H22年度：「実装品質 実態調査報告書」

- JASA 会員企業のソフトウェア開発で使用中のツール把握
(機能要件対応ツール)
- JASA 会員企業で重視している品質特性の調査 (非機能要件への対応)

H23年度：「実装品質に関わる技法・ツールの利用ガイドライン」

- 実装品質強化に利用できるツール仕様・設計技法の整理
 - 各規格への対応方法 (ISO/IEC 9126 や ISO26262 等への対応方法)
- 「組み込み向け非機能要求の実装方法についての標準ガイドライン」

- 非機能要求の仕様化方法、品質作り込みプロセス、検証方法
- プラクティス&事例

進め方としては、2つのワーキンググループ（WG1, WG2）に分けて詳細検討を行った。WG1は、機能要件向けツールの整理と各規格へ対応したガイドライン策定のための整理を実施した。WG2は、非機能要件明確化と標準ガイドライン策定のための整理を実施した。

■ 活動詳細

本年度は合計4回の委員会、1回の特別講演、1回のWG検討会、及び実装品質実態調査アンケートを実施した。

特別講演は本委員会出席者のソフトウェア品質の標準化動向のレベル合わせと知見を深めることが目的であり、ET 展併設セミナーは本研究会の活動内容に関心のある企業等に広く伝え、フィードバックを得ることが目的である。また、実装品質実態調査アンケートは、実装品質強化におけるツール利用状況・品質特性認識状況を把握し、ガイドラインを検討するための方向性を探ることが主な目的である。

2010/6/1(火) 第1回委員会：委員会の目標設定、WG1/WG2の運営方法確認

2010/8/4(水) 第2回委員会：実態調査アンケート案のレビュー

特別講演 (法政大学江崎先生)

「組込みソフトウェアと SQuaRE(または 9126) 品質特性」について

2010/11/9(火) 第3回委員会：実態調査アンケート結果の分析・まとめ

2010/12/1(水) ET 成果報告会：当日出席者 62 名（事前登録者：52 名、当日出席 10 名）

主なアンケート感想：

- ・サンプル数が少ないのでデータの信頼性・信憑性がない
- ・取組みの結果は参考になりそうなので続けて欲しい

2011/2/3(木) 第4回委員会：初年度総括と次年度目の活動方針検討

2011/3/2(水) WG1 検討会：アンケート改善

■ 活動成果

- ・「実装品質実態調査アンケート」によりツール利用実態・品質特性の認識状況が把握できた。ET2010 での成果報告の結果、品質特性実態調査アンケートについては、サンプル数の拡大と継続調査を期待する声が多く、本テーマについて多くの企業が関心を持っていることが確認できた。
- ・非機能要件品質特性については、実態調査アンケートからはガイドライン策定に結びつく定量的なデータは得られなかったため、2年目は先行企業へのインタビューなど調査方法の再検討を行いたい。

5. ハードウェア研究会

■ 活動概要

本年度は「組込みシステム/ハードウェア」について、経営的側面から5つのテーマを設定し、WGを構成し調査検討を行った。WGのテーマと委員会開催はJASAのホームページに掲載し、広く共有を図った。テーマの深耕のために当協会会員企業2社を対象に、現地調査を含めた実態調査を行実施した。本活動を通じて「組込みシステム/ハードウェア」に関する共通認識を確立し、報告書を作成、公開するとともに、JASAのホームページに掲載した。なお本事業はJKA補助金対象である。

■ 活動詳細

本年度は「組込みシステム/ハードウェア」のとらえ方について、昨年度の活動結果を踏まえ、多面的、経営的側面から、以下の5つのテーマごとに担当グループを構成して調査を行った。

- ① 電子機器関連産業における「組込み産業」とは
- ② 組込み産業の中で「組込みハードウェア」は商売になっているか
- ③ 日本の組込み産業の強みは何か
- ④ 技術者育成をどうするか
- ⑤ 組込み業界の市場の将来性

年10回の個別会議（同一場所で並行して実施、または個別実施）、年4回の全体会議（各グループの進捗状況の報告）、それに対応した幹事会（全体会議の直前など）をそれぞれ開催した。各会議のテーマと開催日は協会HPにて公開し、活動の状況を広く公開した。

また、本年度は、テーマの深耕のために下記の、特定分野の製品をハードウェアとソフトウェアで高度化し、市場での高いシェアを持ち、好業績をたもっている当協会会員企業2社を対象に、現地調査を含めた実態調査を実施した。

- ① 東和電機製作所（函館）
- ② デンケン（大分）

本調査の結果、WGで検討されたいくつかの課題に方向性を見出すことができた。

なお、本調査の概要は、協会機関誌、Bulletin JASA 36号、37号に掲載し公開した。以上、本年度の調査結果は別途報告書を作成するとともに、協会のHPに掲載し、広く成果を一般に公開、共有する。

6. プラットフォーム研究会

■ 活動概要

平成22年度は下記の3つのテーマを設定し、次世代の共通基盤となる技術や考え方を探究し、成果を一般に公開することを目的として活動を行った。

- 1) 書籍「オープンイノベーション」を題材に輪講を行い、イノベーションの実績を解析しながら、イノベーションを実現するためのプラットフォームの要件をまとめた。
- 2) 自動車のエンジン制御のプラットフォーム研究の一環で、富士重工業の開発主査を招聘して、ECUの現状と動向についてJASA会員向けに講演していただいた。
- 3) トrendや新規技術の動向を調査研究し、会員間で情報を共有するとともに“Data Communication”や“インタフェース”に全6回投稿し、成果を一般に公表した。

7. 状態遷移設計研究会

■ 活動概要

本年度は、状態遷移表設計を使用した製品開発における派生開発を効果的に行う手法としてSPL（ソフトウェア・プロダクトライン・エンジニアリング）の可能性を探る取組の初年度であった。

本取組の目標は、フィーチャーモデルの視点から状態遷移表を使ったSPL設計手法およびプロセス管理、さらに資産トレーサビリティ管理のガイドラインをまとめ、その成果を広く一般に公開することにある。

年度毎の目標は第3回状態遷移設計研究会で次の様に定義した。

2010：仮説・検証の報告書

《仮説》フィーチャ・モデルがあるとSTMがうまく階層化できる

《検証》ETロボコンの例で試す

2011：ガイドライン案、効果の検証

2012：(別の課題で検証) → ガイドライン Final

本年度は合計8回の研究会と2回の公開セミナー、および設計手法普及調査アンケートを実施した。

公開セミナーのうち第25回 JASA ET セミナーは検討のための知見を深めることが目的であり、ET 展併設セミナーは本研究会の活動内容に関心のある企業等に広く伝えることが目的である。

また、設計手法普及調査アンケートは、本研究会の活動内容の妥当性を測り、今後の研究の方向性を探ることが主な目的である。

■ 活動詳細

2010/8/2(月) 第1回研究会

- ・ 取り組み内容の確認
- ・ ET ロボコンを例としたフィーチャ・モデルのレビュー

2010/9/30(木) 第2回研究会

- ・ 九州大学 中西先生を招聘しての勉強会

2010/10/8(金) 第3回研究会

- ・ 年度毎の目標定義。

2010/11/15(月) 第4回研究会

- ・ 第25回 JASA ET セミナーの段取り
- ・ ET2010 における設計手法普及調査アンケートの段取り

2010/11/19(金) JASA ET セミナー

2010/12/1(水) ET2010 技術本部セミナー

2010/12/1(水)～3(金) 設計手法普及調査アンケート実施

2010/12/21(火) 第5回研究会

- ・ ET ロボコンを例とした状態遷移表設計の検討

2011/1/14(金) 第6回研究会

- ・ ET ロボコンを例とした状態遷移表設計の検討

2011/2/4(金) 第7回研究会

- ・ 九州大学 中西先生を招聘しての成果物レビュー

2011/3/4(金) 第8回研究会

- ・ 九州大学 中西先生を招聘しての成果物レビュー

■ 活動成果

本年度の目標は仮説・検証の報告書であったが、達成できたのは仮説を得る段階までで、検証のまとめまでは到達できなかった。

しかしながら、セミナーや勉強会によって知見を深め、ET ロボコンを例とした設計の検討を重ねた結果、フィーチャ・モデルによる要求の分析によって、干渉を低減し、階層的な状態遷移表の分割を導出する機能分割が可能であるとの有益な仮説を得、次年度の研究の足がかりを得ることができた。

また第25回 ET セミナーの集客状況や、設計手法普及調査アンケートの結果から、本研究会の研究テーマはソフトウェアの開発を行う多くの企業の重要な関心事であることを確認することができた。

8. 制御設計研究会

■ 活動概要

本研究会は、信頼性の高い組込みソフトウェア開発を実現する為の情報提供を目的としている。具体的な活動としては、制御対象の本質的特性を表わすモデルを構築し、そのモデルに基づいて制御理論を適用する制御技術、すなわちモデルベース制御(MBC)の国内への普及と手法の確立に向けて活動している。今年度は主に「アンケート・ヒアリング」と「専門家セミナー」を実施した。

■ 活動詳細

本年度は、4回の委員会を実施した。その他に下記の内容の項目について活動を行った。

(1) アンケート・ヒアリング

分散系／連続系を含んだ統一モデルを中心に、メーカー側の現状・要求・課題などをヒアリングした。3社のメーカーにヒアリングを実施した結果、最も関心のある項目は「モデリング」と「検証」である事が判明した。今年度明確となったテーマについては、引き続いて来年度ヒアリングのテーマとして調査研究を実施する予定である。また、アンケートについては、状態遷移設計研究会に依頼し実施した。

(2) 専門家セミナーの実施

XDDP、SPL（ソフトウェアプロダクトライン）、モデルベース開発というテーマについて、九州地域組込みシステム協議会（ES-Kyushu）九州プロダクトライン推進部会（QPL）、NPO法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）モデルベース開発推進研究会（QMB）と協力してセミナーを開催した。参加人数は、満席（定員80名）の状況となり、アンケート結果でも非常に良い評価をいただき大盛況となった。

(3) 制御設計の手法・表記法の確立

振舞モデル・状態遷移モデルに関する「JASA形式」のたたき台を作成する計画であったが、本年度は実施していない。来年度以降に、九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）モデルベース開発推進研究会（QMB）と連携して計画を行う予定である。

4. ET事業本部

1. ET 実行委員会

Embedded Technology 2010／組込み総合技術展の開催

会 期 2010年12月1日(水)～3日(金)

会 場 パシフィコ横浜

主 催 (社)組込みシステム技術協会

企画・推進 (株)ICS コンベンションデザイン

後 援 横浜市、情報処理推進機構、アメリカ合衆国大使館商務部、英国大使館貿易・対英投資部

協 賛 日本貿易振興機構、科学技術振興機構、(財)日本情報処理開発協会、
(社)情報サービス産業協会、(社)電子情報技術産業協会、(社)情報処理学会、
(社)日本半導体ベンチャー協会、高速信号処理応用技術学会、
東京都立産業技術研究センター、(社)組込みスキルマネジメント協会、
(社)Open Embedded Software Foundation、台北市コンピュータ協会

特別協力 外国系半導体商社協会、組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会、
T-Engine フォーラム、TOPPERS プロジェクト、半導体理工学研究センター、
日本Androidの会、日本電子機器輸入協会、人間中心設計推進機構

併催行事 ETソフトウェアデザインロボットコンテスト(略称:ETロボコン)
チャンピオンシップ大会(競技会:12月1日、ワークショップ:12月2日)

展示規模 出展社数:358社・団体 小間数:757小間

来場者数 21,988名

カンファレンスプログラム数:134セッション 受講者数:11,385名

企画イベント ETレセプション(12月1日17:30-19:00)

ETアワード表彰(12月2日16:30-17:00)

ET Festa(12月2日17:00-18:00)

委員会の開催

22年10月19日 事業本部会

23年1月13日 事業本部会

22年9月10日 第2回実行委員会

23年1月21日 第3回実行委員会

22年4月23日 第3回企画委員会

5月24日 第4回企画委員会

7月30日 第5回企画委員会

8月24日 査読会

12月2日 アワード選考会

12月8日 企画打合せ

23年1月5日 企画準備会

2月14日 企画準備会

2月22日 企画準備会

3月9日 企画準備会

3月25日 企画準備会

2. ET West 実行委員会

Embedded Technology West 2010／組込み総合技術展 関西の開催

会 期 2010年6月17日(木)、18日(金)

会 場 インテックス大阪

主 催 (社)組込みシステム技術協会

企画・推進 (株)ICS コンベンションデザイン

後 援 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、情報処理推進機構

協 賛 関西経済連合会、組込みシステム産業振興機構、
大阪商工会議所、(財)関西情報・産業活性化センター、
近畿情報システム産業協議会、(財)大阪科学技術センター、
(財)大阪市都市型産業振興センター (社)電子情報技術産業協会関西支部、
(財)大阪産業振興機構

展示規模 出展社数：98社・団体 小間数：149小間 来場者数：4,747名

カンファレンスプログラム数：42セッション 受講者数：延べ3,278名

実行委員会の開催

22年5月21日 第2回実行委員会

8月3日 第3回実行委員会、結果報告

12月15日 第1回実行委員会(2011対応)

3. ET ロボコン実行委員会

ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト(略称：ET ロボコン)の実施

組込みソフトウェア分野の技術教育を目的に、ソフトウェアの開発技術を争うコンテストとして実施した。

平成22年度は、北海道地区と東北地区を分け、また新たに、北陸、沖縄の2地区を加え、計10地区での技術教育と地区大会を実施する。また、各地区優秀チームによるチャンピオンシップ大会を12月のET2010と併催し、競技会及びワークショップを実施。

<実施要綱>

技術教育 5月～6月

地区大会

北海道地区 10月10日(日) 於 北海道情報大学

東北地区 9月23日(祝) 於 いわて県民情報交流センター

北関東地区 10月2日(土) 於 新潟大学

東京地区 9月4日(土)、5日(日) 於 工学院大学

南関東地区 9月11日(土)、12日(日) 於 関東学院大学

東海地区 9月25日(土)、26日(日) 会場未定

関西地区 9月19日(日)、20日(祝) 於 京都コンピュータ学院

九州地区 9月4日(土)、5日(日) 於 九州産業大学

沖縄地区 10月16日(土) 於 沖縄産業支援センター

参加チーム数 353チーム

チャンピオンシップ大会 競技会：12月1日(水)、ワークショップ：2日(木)

チャンピオンシップ大会には、各地区大会の優秀40チームが参加。そのうち、21チームが学生チ

ームであった。

結果は下記のとおり。

総合優勝「AEK RUNNER10」 企業 南関東 アンリツエンジニアリング(株) 神奈川県

総合準優勝「こっぺぱん♪」 大学 南関東 神奈川工科大学 吉野研究室 神奈川県

総合3位「i-KVS」 企業 南関東 (株) 日立アドバンスデジタル 神奈川県

南関東地区からのチームが1位～3位まで独占。

V. 支部活動報告

1. 北海道支部

(1) 総括

今年度の経済情勢は、エコポイント制度による自動車、家電製品の販売増と米国経済の回復もあり、リーマンショックから底から脱出しつつある。

しかし、設備投資、研究開発、雇用の増加という本格的回復には至っておらず、まだまだ道半ばの状態にある。

特に製造業は、海外企業との競争が激しく、収益の確保に苦勞しているため、企業の投資意欲は低迷しており、組み込みシステムを得意とする J A S A 会員企業も受注面で苦しい状況が続いている。

このような状況の中、北海道支部は少数集団であるが、他の業界団体と連携し、組み込みシステムの啓蒙普及に努めてまいりましたが、単独での事業は出来なかった1年であった。

(2) 会員の異動状況

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・3月	2	1	0	3
21年・3月	2	1	0	3

(3) 活動状況

なし

2. 東北支部

(1) 事業概要

東北支部としては、地域の組込み産業の活性化を目指して、他地域との交流や情報交換を活性化すること、ET 展などを活用して地元企業の強みを情報発信することなどを積極的に行い、今後の東北支部の事業活動発展の基礎を築いたといえる。

また、支部独自・単独の事業としては、受講者を広く公募する形で技術セミナーを積極的に進め大きな成果があった。

(2) 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 13、支部会員 4 社の合計 17 社、期中において正会員入会 1 社の入会があり、また退会はなく、期末合計は、正会員 14 社、支部会員 4 社の合計 18 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22年・4月	13	4	0	17
23年・3月	14	4	0	18

(3) 事業実績

1. 第1回オープンセミナー

日時 平成22年12月9日(木) 15:00～

場所 マリオス 18階「188会議室」

参加者 45名

講演会

東北大学大学院 環境科学研究科長 田路和幸氏

～直流給電と蓄電をベースとした東北大学のスマートハウス～

鶴岡工業高等専門学校 准教授 佐藤淳様

～スマートセンサによる電力見える化実証実験と

スマートセンサのためのリコンフィギュラブルデバイス～

2. ESxR 体験セミナー

日時 平成23年2月1日(火)、2日(水) 13:00～

場所 東北経済産業局「第一・第二会議室」

共催 IPA/SEC

参加者 1日目40名、2日目41名

3. 平成22年度支部総会

日時 平成22年5月20日(木) 14:00～

場所 仙台商工会議所 4階「第3小会議室」

参加者 常議員13名

議案

(1) 第1号議案 常議員選出の件

(2) 第2号議案 平成22年度事業計画書承認の件

(3) 第3号議案 平成22年度収支予算書承認の件

その他

・メンバ紹介

4. 首都圏交流会

日時 平成22年7月3日(金) 14:30～

場所 東実年金会館 会議室4階

参加者 約110名

・東北企業の紹介 10社

・東京支部会員の紹介 3社

懇親会

5. 常議員会

①第1回常議員会

日時 平成22年7月23日(金) 14:00～

場所 ハーネル仙台 6階「ふじ」

参加者 13名

議題 以下の議題について討議を行った。

- (1) 東北支部活動方針について
- (2) 首都圏交流会について
- (3) ET2010 について

その他

- ・ IIS 研究センター 特任教授 菊池務氏 「IIS 研究センターのご紹介」
- ・ 東北経済産業局 室長 柏芳郎氏 「東北経済産業局の施策紹介」
- ・ 施策事例紹介 トライポッドワークス株式会社 代表取締役 佐々木賢一氏、
バイスリープロジェクト株式会社 代表取締役社長 菅野直氏、
東杜シーテック株式会社 代表取締役 本田光正氏

懇親会 参加者 17 名

②第 2 回常議員会

日時 平成 22 年 12 月 9 日 (木) 13:00～

場所 マリオス 18 階「187 会議室」

参加者 常議員 13 名

議題 以下の議題について討議を行った。

- (1) 常議員の承認 (テセラ・テクノロジー株式会社)
- (2) ET2010 出展報告
- (3) 技術セミナーの状況報告
- (4) 東北支部 HP 立ち上げの状況

その他

- ・ JASA 委員会活動のご紹介 (門田専務理事)
- ・ 会社紹介 株式会社 ソフトエイジ、
株式会社 SJC、
株式会社 セントラル情報センター 東北支店

③第 3 回常議員会

日時 平成 23 年 3 月 4 日 (金) 14:30～

場所 ハーネル仙台 2 階「松島 A」

参加者 常議員 10 名

議題 以下の議題について討議を行った。

- (1) 平成 22 年度事業報告
- (2) 平成 23 年度事業計画案、スケジュールについて
- (3) 平成 23 年度事業予算案について

その他

- ・ 会社紹介 株式会社 NID 東北、
テセラ・テクノロジー株式会社、
株式会社ビッツ 東北事業所

6. その他 (アドバイザー)

東北地域における組込みシステム産業の振興方策に関する調査

期間 平成 22 年 8 月～平成 23 年 3 月
主催 財団法人東北活性化研究センター 調査委員会
内容 調査委員会のオブザーバーとして本田副支部長が参画。

7. その他 (後援)

組込みスキル標準に関する研究会

日時 平成 23 年 2 月 25 日(金) 14:00～

場所 TKP 仙台カンファレンスセンターホール 2B

主催 仙台高等専門学校、JASA 東北支部後援

参加者 約 70 名

講演

- ・豊橋技科大での人材育成について
豊橋技術科学大学 名誉教授 田所嘉昭氏
- ・ETEC における質の保証について
社団法人組込みシステム技術協会 ETEC 運営事務局 近森満氏
- ・高専出身者による企業からの視点
トライポッドワークス(株) プロジェクトマネージャ 渋谷義博氏

パネルディスカッション

本田副支部長とルネサス北日本セミコンダクタ堀越氏がパネラーとして参加。

懇親会

8. その他

協会本部主催の ET2010 (組込み総合技術展) では会員企業の強みを情報発信し、また、東北経済産業局及び関連団体(TOHOKU ものづくりコリドー、とうほく組込み産業クラスター、みやぎ組込み産業振興協議会)主催の総会・講演会・会議にも積極的に参加し、交流や情報交換を活性化してまいりました。

3. 東京支部

(1) 事業概要

東京支部としては、組込み技術の普及啓発を事業の柱に、人材育成、会員間交流活性化を推進し、協会の核としての役割は十分に果たしたといえる。ET2010 をはじめ諸事業も順調に推移し、今後の東京支部の事業活動発展の基礎を築いたといえる。

また、支部独自・単独の事業としては、新に研究開発助成金事業を積極的に進め大きな成果があった。

(2) 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 108、賛助会員 34、支部会員 2 社の合計 144 社、期中において正会員入会 7 社、賛助会員 3 社、支部会員 1 社の入会があった一方、正会員 13 社、賛助会員 4 社、の退会があり、期末合計は、正会員 102 社、賛助会員 33 社、支部会員 3 社の合計 138 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22年・4月	108	2	34	144
23年・3月	102	3	33	138

(3) 事業実績

1. 平成22年度フレッシュヤーズセミナー

- ・日 時 4月7日(水)～4月8日(木)
- ・場 所 東実年金会館4階会議室
- ・参加者 支部会員14社54名

2. 平成22年度東京支部総会

日時 平成22年5月28日(金)

会場 ロイヤルパークホテル2階「春海」

議題 以下の議題について討議及び説明を行った。

1. 平成21年度事業報告案及び収支決算案の承認
2. 平成22年度事業計画案及び収支予算案の承認
3. 沖縄の魅力のご紹介
4. 沖縄の助成金のご紹介、活用事例について
5. 沖縄会員会社紹介
6. 新入会員会社紹介

懇親交流会 2階「東雲」

参加者 支部会員62社82名

3. 情報経済革新戦略報告書説明会

日時 平成22年7月22日(木) 14:00-15:00

会場 東実年金会館3階会議室

演題 「情報経済革新戦略」報告書についての概説
経済産業省商務情報政策局情報政策課 依田圭司氏

4. 例会/講演会

日時 平成22年8月19日(木) 15:00-19:00

会場 東実年金会館3階会議室

演題 「Android製品開発と品質管理の落とし穴」
「組込み機器の今後 クラウドサービスやスマートグリッドとの連携」
アクセンチュア株式会社 通信・ハイテク本部 伊東大助氏、柳谷明宏氏

懇親交流会 支部会員29社52名

5. 東北・東京ビジネス交流会

日時 平成22年9月3日(金) 14:30-19:00

会場 東実年金会館4階会議室

プログラム

- ・東北企業紹介10社

・東京企業紹介3社
懇親交流会 100名

6. 平成22年度若手交流会

日時 平成22年10月8日(金) 19:00-21:00

会場 新宿ミラノボウル

参加者 支部会員8社69名

7. 平成22年度年末例会・講演会

日時 平成22年12月10日(金) 15:00-19:00

会場 京王プラザホテル

内容

(1) 支部研究開発助成金発表(3社3件)

① Android OS ポーティングとC言語実装研究

TDI プロダクトソリューション株式会社

② Windows デバイスドライバ開発入門

株式会社パトリオット

③ iPhone/iPad 機能研究

株式会社パトリオット/株式会社システムファクト

(2) 新入会員ご紹介

(3) 講演会

① 「全国システムハウス業厚生年金基金のご案内」

全国システムハウス業厚生年金基金

② 「団体定期保険のご案内」

日本生命保険相互会社

③ 「所得補償プランのご案内」

株式会社損害保険ジャパン

④ 「当校のご紹介」

職業能力開発総合大学校東京校

⑤ 「年末は落語で大笑い」

講師 三遊亭円丸 氏

(4) 懇親会 参加者 50名

8. 常議員会

① 第1回常議員会

日時 平成22年5月13日 15:00～

会場 東実年金会館3階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

1. 平成21年度事業報告について
2. 平成21年度収支決算について
3. 平成22年度事業計画について
4. 平成22年度収支予算について

5. その他

②第2回常議員会

日時 平成22年7月8日 15:00～

会場 東実年金会館3階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

1. 新役員紹介
2. 平成22年度事業計画について
3. 平成22年度東京支部研究開発助成金の公募について
4. 7/22「情報経済革新戦略」報告書説明会について
5. 8/19 東京支部例会・講演会について
6. 9/3 東北・東京ビジネス交流会について
7. 12/10 東京支部講演会・忘年会について

③第3回常議員会

日時 平成22年11月18日 15:00～

会場 東実年金会館3階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

1. 東京支部研究開発助成金における計画発表（3社3件）
 - ①AndroidOS ポーティングとC言語実装研究
TDI プロダクトソリューション株式会社
 - ②Windows デバイスドライバ開発入門
株式会社パトリオット
 - ③iPhone/iPad 機能研究
株式会社パトリオット/株式会社システムファクト
2. 東京支部中間決算について
3. 12/10 東京支部講演会・忘年会について
4. 見学会について
5. その他

④第4回常議員会

日時 平成22年2月10日 15:00～

会場 東実年金会館3階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

- (1)平成22年度収支報告（予測）について
- (2)平成23年度収支予算（案）について
- (3)平成23年度東京支部年度計画（案）について
- (4)平成23年度東京支部事業計画（案）について
- (5)その他
 - ・平成23年度支部研究開発助成金の公募について

・3/24 見学会について

9. 東京支部WG

①第1回東京支部WG

日時 平成22年4月15日 15:00～

会場 協会8階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

1. 会員紹介メールの配信・HPへの掲示
2. 支部総会における沖縄交流会の開催
3. 若手技術者による新規ビジネス創造

②第2回東京支部WG

日時 平成22年6月4日 15:00～17:00

会場 協会8階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

東京支部研究開発助成金の概要を決め、公募を開始することが決定された。

7月公募、7/末締め切り、8/末採択、9月事業スタート、3/末成果公表

③第3回東京支部WG

日時 平成22年9月7日 15:00～17:00

会場 協会8階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

東京支部研究開発助成金の応募に対し、事業内容を詳細に検討し、

3事業につき、採択することを決定した。

①TDIプロダクトソリューション株式会社

「AndroidOSポータリングとC言語実装研究」

②株式会社パトリオット

「Windows デバイスドライバ開発入門」

③株式会社システムファクト、株式会社パトリオット

「最新デジタル機器を利用した出退勤管理システム」と「iPhoneのソフトウェア開発」を複合した事業

10. その他

協会本部主催の22年度自転車等機械工業振興補助事業、ETセミナー、組込み技術者研修、ET2010(組込み総合技術展)などに主体的に参画し大きな成果を残した。

4. 中部支部

(1) 事業概要

中部支部としては、組込みシステム技術業界の発展、技術者の育成、組込み技術の普及啓発を事業

の柱に、会員間交流活性化を推進した。産業視察事業も国内視察（福岡）と海外視察（台北）を実施した。講演会・セミナー事業をはじめ諸事業も順調に推移し、今後の中部支部の事業活動発展の基礎を築いた。

（２）会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 15、賛助会員 0、支部会員 1 社の合計 16 社、期中において正会員、賛助会員、支部会員の入退会なかった。期末合計は、正会員 15 社、賛助会員 0 社、支部会員 1 社の合計 16 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22年・4月	15	1	0	16
23年・3月	15	1	0	16

（３）事業実績一覧

常議員会	1回
正副支部長会	2回
総会・懇親会	1回
定例会	6回
産業視察	2回
ミドル会	5回
見学会	1回
講演会・セミナー	3回
若手交流会	1回
協賛事業	3回

（４）事業実績

1. 常議員会

①第1回常議員会

- ・日 時 平成 22 年 5 月 19 日（水曜日）15：15－17：30
- ・場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2 階会議室（志野）
名古屋市中村区名駅二丁目 43－6 TEL（052）571－0205
- ・内容（議題）
 - (1) 平成 21 年度事業報告並びに収支決算（案）について
 - (2) 平成 22 年度事業計画並びに収支予算（案）について
 - (3) 平成 22 年度国内産業視察事業について
 - (4) 平成 22 年度海外産業視察事業について
 - (5) 技術セミナー・講演会について
 - (6) 愛知工業大学見学会の日程について
 - (7) その他
 - ・参加人数 14 名
 - ・審議結果 提出された議題が審議され総会に提出することが了承された

②第2回常議員会

- ・日時 平成22年12月16日(木) 17:00~18:30
- ・場所 料亭「蔦茂」名古屋市中区栄三丁目9-27 (052)241-3566
- ・参加人数 10名
- ・内容(議題)
 - (1)新しい研究会の計画について
 - (2)組込みシステム技術セミナーの実施結果
 - (3)第2回講演会・第6回定例会について(2月)
 - (4)平成22年度事業スケジュールについて
 - (5)その他

2. 正副支部長会

①第1回正副支部長会

- ・日時 平成23年1月25日 17:30~19:30
- ・場所 名古屋観光ホテル 呉竹
- ・参加人数 4名
- ・内容(議題)
 - (1)平成22年度収支決算予測
 - (2)平成23年度事業計画についての検討
 - (3)平成23年度事業予算案
 - (4)その他

②第2回正副支部長会

- ・日時 平成23年3月16日(水) 15:30~
- ・場所 三幸電子 会議室
- ・参加者 5名
- ・内容(議題)
 - (1)新年度役員について
 - (2)COMPUTEX TAIPEI 参加者募集について
 - (3)国内産業視察事業について一行き先
 - (4)新研究会の計画について
 - (5)講演会の協賛について
 - (6)その他

3. 総会・懇親会

①通常総会

- ・日時 平成22年5月19日(水) 17:30-17:50
- ・場所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階会議室(志野)
名古屋市中村区名駅二丁目43-6 TEL (052) 571-0205
- ・内容(議案)
 - (1)平成21年度事業報告並びに収支決算(案)について
 - (2)平成22年度事業計画並びに収支予算(案)について
 - (3)平成22年度国内産業視察事業について

(4)平成 22 年度海外産業視察事業について

(5)技術セミナー・講演会について

(6)愛知工業大学見学会の日程について

(7)その他

・参加人数 14 名

内訳 会員 11 名

委任状提出の上代理出席 1 名

顧問 1 名

事務局 1 名

・審議結果

第 1 号議案について全会一致で承認された

第 2 号議案について全会一致で承認された

第 3 号議案について全会一致で承認された

第 4 号議案について 16 名の参加者で実施することが承認された

第 5 号議案について中部エレクトロニクスショーの協賛事業として実施する。

ものづくり補助金の成果報告講演会を行うことが承認された。

第 6 号議案について 7 月初旬を目標に実施することが承認された

②懇親会

・時 間 18:00-20:30

・場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2 階 ザ・ダイニングルーム

・参加人数 37 名 (会員、会員関係者 33 名 + 音楽演奏者 4 名)

4. 定例会

①第 1 回定例会

・日 時 平成 22 年 5 月 19 日 (水) 15:30-17:40

・場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2 階会議室(志野)

名古屋市 中村区 名駅二丁目 43-6 TEL (052) 571-0205

・議題

(1)平成 21 年度事業報告並びに収支決算 (案) について

(2)平成 22 年度事業計画並びに収支予算 (案) について

(3)平成 22 年度国内産業視察事業について

(4)平成 22 年度海外産業視察事業について

(5)技術セミナー・講演会について

(6)愛知工業大学見学会の日程について

(7)その他

・参加者 14 名

・審議結果 提出された議題が審議され総会に提出することが了承された

②第 2 回定例会

・日時 平成 22 年 7 月 29 日 (木) 16:20~17:00

・場所 愛知工業大学 八草キャンパス AIT プラザ

〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草 1247

- ・参加人数 14名
- ・内容（議題）
 - (1)台湾産業視察事業の実施報告
 - (2)組込みシステム技術セミナー（エレシヨ一併催）
 - (3)門田専務理事と中部経済産業局情報政策課長との会談結果
 - (4)中部地域イノベーション・パートナーシップ推進会議の結果
 - (5)第3回定例会（9月）の計画
 - (6)その他

定例会のあと ET ロボコン名古屋大会について愛知工業大学と意見交換した。

③第3回定例会

- ・日時 平成22年9月8日（水） 17:30～20:00
- ・場所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 志野
- ・参加者 11名
- ・内容
 - (1)支部会員の会社紹介
 - (2)若手交流会の実施計画
 - (3)組込みシステム技術セミナーの取り組み
 - (4)ET ロボコン（名古屋大会）について検討結果
 - (5)今後の事業計画
 - (6)その他

④第4回定例会

- ・日時平成22年10月26日（火） 15:00～18:00
- ・場所スポーツ名古屋
名古屋市中区栄2-45-26 052-261-3111
- ・内容
 - (1)平成22年度中間決算につて
 - (2)組込みシステム技術セミナーの参加状況について
 - (3)忘年会の開催計画について
 - (4)第2回講演会の開催計画について
 - (5)今後の事業計画
 - (6)その他

⑤第5回定例会・忘年会

- ・日時 平成22年12月16日（木） 15:00～18:30
- ・場所 料亭「蔦茂」名古屋市中区栄三丁目9-27 (052)241-3566
- ・参加人数14名（忘年会参加人数 22名）
- ・内容
 - (1)新しい研究会の計画について
 - (2)組込みシステム技術セミナーの実施結果
 - (3)第2回講演会・第6回定例会について（2月）

- (4)平成 22 年度事業スケジュールについて
- (5)その他

⑥第 6 回定例会

- ・日時 平成 23 年 2 月 3 日（木） 16：30～17：10
- ・場所 名古屋市工業研究所 第 3 会議室
- ・参加人数 11 名
- ・内容
 - (1)平成 22 年度収支決算の見通し
 - (2)平成 23 年度事業計画についての検討
 - (3)平成 23 年度事業予算案
 - (4)2011 中部支部会員企業案内冊子の出版
 - (5)次年度の事業について
 - (6)その他

5. 産業視察事業

①国内（福岡県産業視察）

- ・期間 平成 22 年 4 月 9 日（金）～10 日（土）
- ・訪問先 九州先端科学研究所
福岡システム LSI センター
- ・交流先 JASA 九州支部
- ・交通手段新幹線（名古屋～博多）
- ・参加人数 16 名
- ・内容
 - (1)九州先端科学研究所
九州地域組込みシステム協議会は 315 社の企業と 205 団体を会員としている 21 世紀に向けた国際都市づくりをする為情報関連産業の振興を市の重点施策として位置付けている。システム LSI 研究室、情報セキュリティ研究室、生活支援、IT 研究室、ナノテク研究卒が設けられている。産学官連携、情報交流事業によって経済の活性化を図る目的で活動していた。
 - (2)福岡システム LSI センター
システム LSI 設計試作センターには回路設計ツールが設置されていて、コーディネーターの指導のもとで開発設計がすすめられ、大手半導体メーカーが試作チップの製造を担当するシステムが作られていた。また、試作チップの性能検証のための設備も設置されていた。設置されている半導体試作開発設備を見学した。
 - (3)九州支部との交流会
九州支部との交流会には九州支部支部長、副支部長、事務局職員等に参加いただいた。支部の活動や特徴について意見交換ができた。

②海外（台湾産業視察団派遣）

- ・視察先 台湾 COMPUTEX TAIPEI 展示会に参加
- ・対 象 実務者・技術者

- ・日 程 平成22年6月2日(水)～6月5日(土) 3泊4日間
- ・参加 16名
- ・実施内容
 - (1)台湾コンピュータ協会(TCA)の説明会・交流会に出席
 - (2)JASA本部、近畿支部の会員との交流会に参加
 - (3)TEIA(台湾組込みシステム協会)との情報交換会に参加
 - (4)COMPUTEX TAIPEI 展示会に参加して情報収集

6. ミドル会

①第1回ミドル会

- ・日 時 平成22年5月19日(水) 15:30-17:50
- ・場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 ザ・ダイニングルーム
- ・参加人数 8名(ミドル会会員6名+3(会長、支部長、事務局))
- ・内容
 - (1)ミドル会参加者の紹介
 - (2)ミドル会の運営方針について会長より説明
 - (3)ミドル会会員相互の懇親

②第2回 ミドル会

- ・日時平成22年6月16日(水) 18:00～
- ・場所ソフィテルザサイプレス 2階 志野
- ・参加人数 9名
- ・内容 事前アンケートの確認
 - (1)参加者の自己紹介、会社紹介
 - (2)ミドル会会長、支部長の講話
 - (3)会員相互の情報交換

③第3回 ミドル会

- ・日時平成22年7月21日(水)
- ・場所料亭 つたも
- ・参加人数 8名
- ・内容
 - (1)テキストの配布
 - ”変貌するチームリーダー” 安達 幸裕著 ダイアモンド社刊
 - (2)支部長水谷多嘉士氏の時事講話
 - (3)上海万博の参加感想
 - (4)中国の産業事情
 - (5)中国人ワーカーの賃金と労働者スト

④第4回 ミドル会

- ・日時 平成22年9月29日(水) 18:00～20:00
- ・場所 ソフィテルザサプレス 志野

- ・参加人数 9 名
- ・内容
 - (1)ミドル会会長の話題提供等
 - (2)支部長の時事解説等
 - (3)前回の会合で配布いたしましたテキストの読書感想
 - (4)その他

⑤第5回 ミドル会

- ・日時 平成 22 年 11 月 9 日 (火) 18 : 00～20 : 30
- ・場所 スギモト本店
名古屋市中区栄 3 - 1 - 3 5
- ・参加人数 8 名
- ・内容
 - (1)ミドル会会長の話題提供等
 - (2)支部長の時事解説等
 - (3)ミドルの役割について
 - (4)その他

7. 見学会

①愛知工業大学見学会

- ・日時 平成 22 年 7 月 29 日 (木) 15 : 00～18 : 00
- ・場所 愛知工業大学 八草キャンパス AIT プラザ
〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草 1247
- ・参加人数 14 名

8. 講演会・セミナー

①第 1 回 講演会

- ・日時 平成 22 年 9 月 8 日 (水) 16 : 00～17 : 30
- ・場所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 志野
- ・講演題目 ” JASA の活動方針と中部支部への期待”
講師 社団法人 組込みシステム技術協会 専務理事 門田 浩
- ・参加者数 11 名

②第 2 回 講演会

- ・日時 平成 23 年 2 月 3 日 (木) 15 : 00～16 : 30
- ・場所 名古屋市工業研究所 第 3 会議室
- ・講演題目” ブラザー工業の組込みソフトウェア技術者育成と評価”
講師 ブラザー工業株式会社 製造部テクノロジーセンターG 小林 一夫 氏
- ・参加人数 25 名

③組込みシステム技術セミナー

- ・日時 平成 22 年 11 月 11 日

- ・場所 名古屋国際会議場 2号館 222 会議室
- ・参加人数 86 名
- ・講演
 - (1)演題 1 ものづくり試作支援における機能安全支援ツールの試作と課題
講師 株式会社 ヴィッツ 組込制御開発部 マネージャ 松岡 裕介
 - (2)演題 2 インテリジェント多機能リレーの試作開発
ー配電盤分野における IT 化への取組みー
講師 東洋電機株式会社 事業本部エンジニアリング事業部 技術 2 部 1 課
渡部 智紀・熊谷 英雄
 - (3)演題 3 組込みソフトウェア開発における検証開発環境の試作開発
講師 株式会社 サンテック システム開発部 ソフトウェア開発課 植田 涼太
 - (4)演題 4 アプリケーション駆動管理プラットフォームの試作開発
講師 東海ソフト株式会社 中部技術本部 エンベデッド技術部システム 4 課 服部正人

9. 若手交流会

- ・日時 平成 22 年 10 月 26 日 (火) 17 : 00 ~ 18 : 30
- ・場所 スポーツ名古屋
名古屋市中区栄 2-45-26 052-261-3111
- ・参加人数 73 人

10. 協賛事業

①中部エレクトロニクスショー

- ・主催 中部エレクトロニクス振興会
- ・日時 平成 22 年 11 月 11 日、12 日
- ・場所 名古屋国際会議場
- ・来場者数 3,113 人

② JaSST' 10 Tokai

- ・主催 Jasst' 10 実行委員会
「テストから始めるイノベーション
ーテスト (品質) のプロセス, 技術, 人に必要なものを考えるー」
- ・日時: 2010 年 10 月 22 日 (金)
- ・場所: 名古屋市中小企業振興会館 (吹上ホール)
- ・参加人数 100 名

③Eclipse プラグイン開発入門

- ・主催 システム技術研究会 名古屋市工業研究所
- ・日 時 平成 23 年 1 月 28 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 00
- ・場 所 名古屋市工業研究所電子技術総合センター5 階コンピュータ研修室
- ・参加人数 12 人

5. 北陸支部

(1) 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 4 社、期中において正会員入会 1 社の入会があり、また退会はなく、期末合計は、正会員 5 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22 年・4 月	4	0	0	4
23 年・3 月	5	0	0	5

(2) 平成 22 年度支部総会等の開催

支部総会等を開催し、事業活動・収支状況等について検討審議した

・支部総会

開催日時：平成 22 年 7 月 26 日（月）18：00～

議 題：

- ・平成 21 年度事業実施状況及び収支決算状況報告
- ・平成 22 年度事業計画及び収支予算
- ・視察研修

出席者：5 名

(3) 産学官連携事業

1) 福井県等が主催する会議等への参加

ア) 福井県産力戦略本部員会議

開催日時：7 月 26 日（月）10：00～

検討課題：

- ①産業人材の育成について
(人材育成修学資金貸与制度、研究開発人材育成事業等)
- ②地域産学官共同研究拠点の運営体制について

イ) 福井県経済界サマースクールへの参加

開催日時：8 月 23 日（月）、24 日（火）13：00～

対 談：地方の新しい動き」

鼎 談：地方が創る日本経済の未来

ウ) クラウドビジネス意見交換会への参加

開催日時：11 月 2 日（火）15：00～

検討事項：

- ①クラウドビジネスの推進策について
- ②県内 IT 産業の現状と課題について
- ③県内企業の IT 化について

2) 学生との交流事業への参加

ふくい産業支援センターが主催する「県内情報サービス企業の魅力を周知し、優秀な人材確保につなげるための事業」への参加

・セミナーと交流会

11 月 17 日（水）講演…講師：赤松 正行氏 95 名参加
交流会…参加企業 10 社 学生 26 名

12 月 3 日（金）講演…講師：北野 弘治氏 64 名参加
交流会…参加企業 9 社 学生 37 名

・企業探訪…3回実施

12月 8日 (火) 3社 学生 13名
12月 10日 (金) 3社 学生 15名
12月 16日 (木) 3社 学生 16名

(4) 他団体との協同事業

1) 例会の実施

(社) 福井県情報システム工業会と合同で、次のとおり例会を開催し参加した。

第1回

開催月日：平成22年7月22日(木) 16:30～

開催場所：アオッサ6F 602会議室

例会：講演会 演題：「働き盛りの心の健康について」

講師：(財) 松原病院 理事長 松原 六郎 氏

参加数：36名 交流会 33名

第2回

開催月日：平成22年9月9日(木) 16:00～

開催場所：福井県職員会館2F 201会議室

例会：講演会 演題：「携帯電話の最新技術と今後の展望」

講師：NTTドコモ ソリューションビジネス部長 中西雅之 氏

参加数：37名 交流会 31名

第3回

開催月日：平成22年11月18日(木) 16:00～

開催場所：アオッサ6F 602会議室

例会：講演会 演題：「画像認識テクノロジーの現状そして未来へと」

講師：MEC 福井支店 大江 克久 氏

NEC システムテクノロジー主任 仙波 修一 氏

参加数：26名 交流会 23名

第4回

開催月日：平成23年2月25日(金) 16:00～

開催場所：アオッサ6F 601会議室

例会：講演会 演題：「富士通の宇宙関連技術のご紹介」

講師：富士通(株) TCソリューション事業部

プロジェクト統括部長 青木 尋子 氏

参加数：27名 交流会 21名

2) (社) 福井県情報システム工業会理事会等への参加

(社) 福井県情報システム工業会理事会へ参加し、情報交換・交流を図るとともに、福井県施策等の実施状況等について説明・協力を依頼した。

ア) 4月9日(金)

21年度地域イノベーションパートナーシップ事業の実施状況報告

イ) 5月25日(火)

福井県が主催する「ロボット教育推進委員会」への委員の派遣

ウ) 7月22日(木)

①IT業界向け研修への参加要請

・RFP(提案依頼書)に基づく提案書作成

・プログラム開発における品質管理

②ETソフトウェアデザインロボットコンテスト北陸地区大会の開催案内

エ) 9月9日(木)

①ITフォーラム2010開催について

- ②福井県主催の「クラウドビジネス関連意見交換会」の実施
 - ③学生向け県内 IT 企業魅力発見事業（ふくい産業支援センター主催）への参加協力の要請
- オ)11月18日（木）
各施策の実施状況報告
「組込み総合技術展 2010 及び ET ロボコン」の開催案内
- カ)12月15日（水）
各施策の実施状況報告
「ET ロボコンチャンピオンシップ大会」の開催状況報告
- キ)2月25日（水）
各施策の実施状況報告
福井工業大学が実施する「産学連携講座」への講師派遣要請

3) 福井県 IT 産業団体連合会との合同による賀詞交歓会の開催

福井県 I T 産業団体連合会役員会へ出席するとともに、合同で新年賀詞交歓会を開催した。福井県幹部をはじめ産学官の有志が参会した。

開催日時：平成 23 年 1 月 24 日（月）

開催場所：ユアーズホテルふくい 4F

講演会：演題 「グローバル化と企業経営」

講師 福井県立大学 地域経済研究所 教授 南保 勝 氏

参加者数：81 名

(5) 視察研修

10 月 18 日（月）から 2 日間の日程で、富士通那須工業の視察研修を実施した。

当会から 5 名の会員と入会候補 1 名の計 6 名により、富士通那須工業を訪問し、工場概要の説明と見学（携帯電話の製造・試験現場）及び意見交換を行った。

(6) 「ふくい IT フォーラム 2010」への名義後援

福井県 I T 産業団体連合会が主催する「ふくい IT フォーラム 2010」への名義後援を行った。

開催日時：平成 22 年 10 月 21 日（木）～22 日（金）

開催場所：福井産業会館 1 号館

入場者数：17,621 名

6. 近畿支部

< 総括 >

近畿支部では各事業委員会を中心に、数々の事業を展開してきた。

経営者はじめ社員の皆様方の積極的な参加をいただき、成果が出せたと思うが、参加いただけて無い会員企業も多く有った。

出来るだけ多くの会員の皆様に参画いただく為にも内容を精査し、今後への反省と、会員企業の協業がさらに拡大出来る様、繋げていきたい。

5 回目の開催となった、組込み総合技術展関西 (ET West 2010) はご協力頂いた皆様のお陰で無事終了出来たが、今後に関して支部活動の限界が見えてきた。

今後は本部主体の支部サポートとの関係で運営する方向で調整になろうかと思うが、近畿支部としては支部活動の大きな柱として、引き続き展開していく。

<会員の異動状況>

期首支部会員数は、正会員 35、支部会員 2 社、賛助会員 2 社の合計 39 社、期中において正会員 1 社の入会があり、また正会員 3 社の退会があり、期末合計は、正会員 33 社、支部会員 2 社、賛助会員 2 社の合計 37 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22年・4月	35	2	2	39
23年・3月	33	2	2	37

<支部活動>

1. 近畿支部総会 第24回通常総会開催

平成22年4月23日（金）於：大阪産業創造館

・平成21年度事業報告及び収支決算報告

出席者：25名 委任状提出：11名

2. 常議員会 5回開催

支部事業計画に基づいた具体案の検討他、各種審議を行った。

①平成22年5月26日（水）於：大阪産業創造館16名出席

②平成22年7月28日（水）於：京料理「あと村」18名出席

③平成22年9月15日（水）於：大阪産業創造館19名出席

④平成22年11月17日（水）於：大阪産業創造館17名出席

⑤平成23年2月23日（水）於：大阪産業創造館20名出席

経済産業省近畿経済産業局との意見交換会

①平成22年5月26日（水）於：大阪産業創造館16名出席

②平成22年9月15日（水）於：大阪産業創造館19名出席

経済産業省近畿経済産業局主催「知財経営戦略セミナー」

平成23年2月23日（水）於：大阪産業創造館19名出席

3. 事業委員会

支部では3つの事業委員会を置き、

①総務・企画委員会にて（業界経営基盤の強化、推進支援）、

②技術・業務委員会にて（情報処理技術の高度化対応）、

③広報・マーケット委員会にて（市場の開発と知名度向上）を目的に、各種活動を推進した。

4. 本部との連携による活動推進

本部活動への参加、協力、支援を行うとともに、本部の協力を得て、支部活動を活性化、相互連携を推進した。

5. 行政や他団体との連携・協調推進

官公庁及び関係諸団体との連携を継続的に行い、会員企業に有益な業界関連情報

を提供した。

- ・近畿経済産業局
- ・近畿情報システム産業協議会（KISA）
- ・関西電子情報産業協同組合（KEIS）
- ・（財）大阪科学技術センター（OSTEC）
- ・（財）関西情報産業活性化センター（KIIS）

<委員会事業活動>

1. 総務・企画委員会

（1）総務交流フォーラム（総務諸問題研究部会）

各社管理部門担当者の人材育成、ネットワークの構築に取り組んだ。
セミナー及び懇親会を3回開催。

①平成22年7月26日（月）於：大阪科学技術センター13名出席

講演 ルミエールキャリアデザイン 垂井 幸恵氏
テーマ「メンタルヘルス実践研修」

②平成22年11月9日（火）於：大阪科学技術センター13名出席

講演 竹林・畑・中川・福島法律事務所 山田 長正弁護士
テーマ「労働基準監督署臨検の傾向」

③平成23年2月8日（火）於：大阪科学技術センター11名出席

講演 特定社会保険労務士 坂本 浩造氏
テーマ「ひとつ『働き方』を変えてみよう！」

～ワークライフバランスを見直して～

（2）新春IT振興フォーラム及び賀詞交歓会

平成23年1月13日（木）於：大阪科学技術センター

・新春IT振興フォーラム

講演 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科教授
デジタルサイネージコンソーシアム理事長 中村 伊知哉氏
テーマ「デジタルサイネージ戦略」～第4のメディアとしての将来展望～

・賀詞交歓会

近畿情報システム産業協議会加入8団体主催で開催。
229名出席（うちJASA近畿支部：34名）

（3）新入社員ビジネスマナー研修

関西電子情報産業協同組合（KEIS）との共催で開催。

平成22年4月8日～9日（2日間）於：大阪産業創造館

JASA近畿支部より8名参加

（4）会員交流会（JASAファミリークラブ）

全国システムハウス業厚生年金基金よりの補助事業。

平成22年10月20日（水）於：ファンタイム・ボニーラ

オールディズ・ライブ、ビンゴゲーム、バイキング料理での交流会を開催した。

102名参加

2. 技術・業務委員会

(1) 技術交流フォーラム (ITシステム研究会)

各社技術担当者が集まり、情報収集、意見交換を行った。市場開発交流フォーラムと合同で3回開催。

(2) 会員月例会 (近JASAフォーラム)

常議員会終了後、2回開催。

会員企業間の情報・意見交換を目的に各社企業紹介を主に行った。

①平成22年5月26日 (水) 於：大阪産業創造館16名出席

㈱U洛 取締役 木村 吉男氏ご担当

②平成22年9月15日 (水) 於：大阪産業創造館19名出席

㈱舞鶴計器 取締役営業部長 玉林 直人氏ご担当

(3) 技術セミナー

外部から講師を招き、会員企業の技術社員を対象にセミナーを4回行った。

①平成22年6月23日 (水) 於：大阪産業創造館13名出席

講師 ㈱日新システムズ 柏木 良夫氏

内容 「マルチコアの組込みソフトウェア開発手法がわかるセミナー」

②平成22年8月25日 (水) 於：大阪産業創造館21名出席

講師 イーソル㈱ 古川 剛彦氏、宇佐美 雅紀氏

内容 「ソフトウェアレビューの基礎知識及びレビュー導入の勘所」

③平成22年10月20日 (水) 於：大阪産業創造館24名出席

講師 ㈱デンソー 佐藤 洋介氏

内容 「System of Systems：組込みシステムの正しい捉え方」

④平成23年1月26日 (水) 於：大阪産業創造館22名出席

講師 イーソル㈱ 古谷 伸一氏、宿口 雅弘氏

内容 「ソフトウェアテスト基礎 (テスト設計&テスト計画)」

3. 広報・マーケット委員会

(1) 市場開発交流フォーラム (ビジネス開発研究部会)

交流フォーラムと懇親会を技術交流フォーラムと合同で3回開催。

会員企業を訪問、各社が抱える問題を提起、議論を行った。

①平成22年7月12日 (月) 於：大阪科学技術センター30名参加

近畿情報システム産業協議会のビジネスカンファレンスに参加

②平成22年10月6日 (水) 於：クリエイション・コア東大阪15名参加

③平成22年12月13日 (月) 於：KEC関西電子工業振興センター12名参加

(2) 国内・海外視察研修

支部では「アジアのコンピュータビジネス」の実現に取り組んできた。

今年度は台湾・台北で開催されたComputex Taipeiと高雄を視察した。

平成22年6月3日（木）～6日（日）3泊4日

内容 台北（Computex Taipei 2010）及び高雄視察

Computex Taipei 2010展示会場視察（J A S Aブース出展）

TCA（台北コンピュータ協会）加盟企業との懇親会（本部、
中部支部）、高雄市内視察

参加者 9名

4. ET West2010（組込み総合技術展 関西）にて展示会及び
カンファレンスを開催。

平成22年6月17日（木）～18日（金）

於：インテックス大阪

出展社：98社・団体（149小間）

来場者：4,747名（2日間）

5. その他活動

（1）会員交流会

①平成22年7月28日（水）於：京料理「あと村」にて懇親会 22名
出席

②平成22年11月17日（水）於：日本料理「光林坊」にて交流会 22名出席

6. 経済産業省近畿経済産業局の活動

近畿経済産業局・情報政策課とは意見交換会を行っているが、5月26日（水）には
「数字で見るITユーザ企業のホンネ」について解説していただいた。

9月15日（水）には情報政策課からご紹介いただいた、（社）関西電子工業振興セ
ンター生駒試験所の泉所長より、事業概要の説明とEMCについてお話いただいた。

11月17日（水）には「地域新成長産業創出促進委託事業（新成長産業分野 I T 経
営モデル事業：調査研究・組込みシステム産業）」概要の紹介、上記調査のヒアリ
ングへの協力依頼、現状困っていることについての質疑があった。

2月23日（水）には特許庁と近畿経済産業局特許室の主催で「知財経営戦略セミナー」を行った。

7. 九州支部

1. 会員の異動状況

期首支部会員数は、正会員 10、支部会員 1 社の合計 11 社、期中において正会員 1 社の退会があり、
期末合計は、正会員 9 社、支部会員 1 社の合計 10 社となった。

	正会員	支部会員	賛助会員	計
22年・4月	10	1	0	11
23年・3月	9	1	0	10

2. 支部総会

(1)4月22日(木)

第25回九州支部総会

KITEC 16時30分～ 7名

22年度事業計画と収支予算書、決算報告 総会后 懇親会 4名

3. 常議員会

(1)8月5日(木)

常議員会開催

場所 九州産業技術センター内 (KITEC) 時間 16時30分～

出席 会員8名 事務局1名

行事報告及び9月末・10月出展について検討会

(九州・国際テクノフェア2010/ものづくりフェア2010)

18時～20時

懇親会 出席7名 事務局1名

(2)10月14日(木)

13時～14時30分 常議委員会 博多国際ターミナル会議室

九州支部中間会計報告、各社現状報告、その他 出席者8名

4. 委員会

(1)6月28日(月)

第一回制御設計委員会

14時～17時 福岡LSIシステムセンター

福田委員長、門田専務理事、有馬社長・・・9名 17時30分～キックオフ懇親会

(以下支部長はオブザーバーで出席)

(2)7月21日(水)

第2回制御設計委員会出席

14時～17時 福岡システムLSIセンター 福田委員長・・・7名

(3)8月19日

第3回制御設計委員会出席

14時～17時 福岡システムLSIセンター

福田委員長・・・7名

5. その他の活動

(1)4月9日(金)

JASA 中部支部と九州支部との交流会

福岡LSI開発総合センター、九州最先端科学技術研究所(ISIT)の見学

4月16日電波新聞に掲載(別紙)

JASA 中部支部と中洲で懇親会 支部長、副支部長、事務局3名が出席

(2)5月17日(月)

福岡市組込みソフト開発応援団総会

時間 13時30分～ 福岡SRPセンタービル 出席21名(別紙ご案内)

(3)5月22日(土)

ETロボコン2010九州地区大会第1回技術説明会

10時～17時 福岡システムLSIセンタービル2階 40チーム 58名参加

(4)6月25日(金)

九州地域組込みシステム協議会(Es-kyushu)総会 共催

福岡SRPセンタービル

平成21年度総会・セミナー(別紙案内) 共催

総会・理事会

来賓 九州経済産業局地域経済部長 中島英史 氏

・事業報告/事業計画

・セミナー81名出席 (JASA入会の案内をする) 懇親会約40名参加

北九州市スマートコミュニティ実現に向けて 北九州市 櫃本礼二

ICTによる農業イノベーション 九州大学 南石先生

新生代電気自動車 三菱自動車 和田憲一郎

・懇親会

(5)6月26日(土曜日)

ETロボコン2010九州地区大会第2回技術説明会

10時～17時 福岡システムLSIセンタービル 34チーム参加 52名参加

(6)6月29日(火曜日)

Es-kyushu(九州組込みシステム協議会)と意見交換会

12時～14時 九州最先端科学技術研究所(ISIT)内

JASAから

門田専務理事、松尾支部長、池田副支部長、九州支部事務局

Es-kyushu関係者

福田(九大)、富松(座長)、芦原(QUEST副理事)、森光(ISIT次長・博士)

犬塚(ISIT事務局)

目的

九州地域のイベント及び活性化について

①ETEC試験/ETロボコン運用について

②Es-kyushuとネットワーク構築

③表彰認定を設けては

(7)7月24日(土)

ETロボコン2010九州地区大会第一回試走会

9時～18時 福岡システム LSI センタービル 2階
・参加チーム数：41 チーム ・参加者：177名

(8)7月30日(金)

(財)九州大学学術研究都市推進機構 訪問
ヒューマンインターフェイス/バーチャルリアリティの案内
筑肥線九大学研都市前 14時～16時30分
人間特性の解明とその工学的応用について講演
懇親会で JASA の活動と紹介

(9)8月3日(火)

平成22年度福岡先端システム LSI 開発拠点推進会議総会
(オブザーバー会員として出席)
ホテルオークラ福岡 14時～18時
挨拶：麻生福岡県知事、鎌田推進会議会長、滝本九州経済局長
合田文部科学省局長・・・
講演：日本半導体、復活するための世界戦略
ミニマムファイブ構想と今後の展開について
SSB 福岡プロジェクトの新たな展開
MOU 締結式(韓国電子技術研究院)

(10)8月21日(土)

ET ロボコン2010九州地区大会第二回試走会
九州産業大学 一号館7階
9時～18時
・参加チーム数：40 チーム ・参加者：176名 ・実行委員：30名

(11)9月4日(土)

ET ロボコン九州大会 競技大会
九州産業大学 一号館7階
9時30分～17時
18時～20時 懇親会
・チーム参加人数：167名 ・見学者人数：157名 ・実行委員・ボランティア：65名
★合計：389名

(12)9月5日(日)

九州産業大学 中央会館4階
10時～14時
・ワークショップ ・コード品質評価WS ・表彰式

(13)9月16日(木)

第156回理事会開催 出席(別途ご案内)

13時00分～16時30分 於 東実年金会館4階

(14)9月27日(月)

第4回制御設計委員会

福岡LSIセンター

16時～19時

今後の活動動計画について

平成23年1月にセミナー開催

出席者 福田委員長、IPA 田丸氏他 6名

(15)9月29日(水)～10月1日(金)

九州・国際テクノフェア2010開催

北九州市小倉北区 西日本総合展示場

開催時間 10時～17時

29日(水) 10時から開会式出席

来場者数

9月29日(水) 曇り 5,100人

9月30日(木) 晴れ 6,000人

10月1日(金) 晴れ 5,100人 計12,600人

(社)組込みシステム技術協会 九州支部 協賛

(16)10月14日(木)～10月16日(土)

モノづくり展開催 福岡市博多区 マリンメッセ福岡

時間は10時から17時まで

来場者数

10月14日(木) 晴 4,169人

10月15日(金) 晴 5,384人

10月16日(土) 晴 3,433人 計 12,986人

※昨年は12,824人でした。

(社)組込みシステム技術協会 九州支部 協賛

(17)10月20日(水)

11時～12時

経済産業省九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 情報政策係長

松本孝之氏新任挨拶及び九州地区におけるJASAの活動状況についてヒアリング

出席者 松尾支部長、事務局、NPO九州組込みコンソーシアム芦原事務局長、事務局

(18)11月9日(火)

人材育成におけるスキル標準の活用セミナー

主催：財団法人九州先端科学技術研究所

共催：独立行政法人情報処理推進機構

協賛：社団法人組込みシステム技術協会(JASA)九州支部、

九州地域組込みシステム協議会 (ES-Kyusyu)

講師：SEC 研究員 室 修治、小林直子、藤原由起子の各氏
プログラム

- ・ 10:00～12:00 技術者とスキル標準について
- ・ 13:00～15:00 スキル標準の活用 (演習)
- ・ 15:30～17:00 スキル標準活用事例紹介、セミナーまとめ、発表

参加人員 18名

(19)11月22日 (月)

14時30分～15時30分

JASA 九州支部にて雇用・能力開発機構九州能力開発大学校副校長、電子情報技術科講師九州地区の組込み業界の調査、分析及び来年度授業の講座検討について意見交換
支部長、副支部長(代理)が同席

(20)11月25日 (木)

九州組込みサミット 2010 in KUMAMOTO 開催

主催：九州経済産業局、九州地域組込みシステム協議会 (ES-Kyushu) 他

■テーマ毎ワークショップ概要

- ・ワークショップはそれぞれテーマを持ち、テーマに関連した議論を行います。
- ・ワークショップの目的は、具体的なテーマに絞ることで、同じ関心、同じ課題、同じ計画を持つ九州内の参加者が具体的に協力関係を作り協力して目的を達成するきっかけを作ることです。
- ・ワークショップでは、テーマについて有効な議論を行う為に、必要に応じてゲスト招待。
- ・ゲストはテーマについての先行事例や関連するメーカ、研究者、専門家、ユーザなどです。

会場 ホテルニューオータニ熊本 13時～17時半

JASA 九州支部は相互会員として事務局及び会員が参加

(21)11月26日 (金)

ソフトウェアテストシンポジウム 2010 九州 (JaSST' 10 Kyushu)

～安全・安心のためのテストについて考えよう～

会場 熊本市国際交流会館

主催 NPO ソフトウェアテストシンポジウム九州 実行委員会

協賛 (社) 組込みシステム技術協会 (JASA) 九州支部 他

(22)12月1日 (水)

第157回理事会 (別途ご案内)出席

パシフィコ横浜会議センター 13時30分～15時45分

支部事務局は「ET2010」期間中展示会サポート

同時に「ET ロボコンチャンピオンシップ大会」開催

技術部門で「SAGA 組込みソフト研究会」(佐賀市)が優勝

(23)平成23年1月24日 (月)

制御設計委員会 福岡システム LSI 総合開発センター

22年度の活動計画まとめと23年度啓発活動について
16時～18時 出席者 8名 福田委員長、門田専務理事
18時30分～20時 新年会 6名

(24)平成23年1月27日(木)

常議委員会 場所 九州産業技術センター (KITEC) 16時30分～18時00分
22年度予想収支報告、23年度活動報告検討 23年度収支見通し
23年度九州支部組織検討会
出席者8名 事務局1名 電波新聞社1名
18時30分～20時00分 新年会 出席者8名 事務局1名
モルトヴォーノ

(25)2月17日(木)

幹部会 14時～17時 東京 東実会館 (3F)

(26)2月23日(水)～24日(木)

「第9回シリコンシーベルトサミット福岡2011」！
テーマ「アジア新時代の半導体産業の新たな展開
～シリコンシーベルトの更なる発展と福岡の役割～」
2011年2月23日(水)～24日(木)
会場：ホテルオークラ福岡(福岡市博多区)
[主催] 福岡県、福岡先端システムLSI開発拠点推進会議、
九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

(27)3月5日(土)

ETロボコン2011実施説明会
14時～17時 場所 福岡システムLSIセンター
約30社が説明会に参加
実施機関 NPO九州組込みソフトウェアコンソーシアム

(28)3月25日(金)

JASA制御設計委員会セミナー(プロダクトライン)
10時～17時 場所 福岡システムLSIセンター
参加者 午前 74名 午後 64名 懇親会 41名
門田専務理事出席

VI. 付録

● (財)JKA 自転車等機械工業振興事業

協会の重点事業を的確に遂行し、マイクロエレクトロニクス応用技術の開発を促進し、情報産業の発展に寄与するため、(財)JKA 自転車等機械工業振興事業「平成 22 年度組込み技術の高度化と環境整備に関する調査研究」を実施し、成果を報告書としてまとめたほか、機関誌「Bulletin JASA」に掲載し周知を図った。

■ 地域振興・活性化のための「組込み技術」に関するフォーラムの全国開催

組込みシステム及び技術に関する調査研究・普及啓発を中心に、地域間格差の是正を図り、地場産業などの活性化を実現した。このために全国の中心都市を中心に、組込み技術、IT活用経営セミナーを実施し、技術、経営の両側面からの底上げを図った。

- ① 平成 22 年 6 月 17 日～18 日 於 インテックス大阪 (ET-West2010 併催)

【テクニカルセッション】

- (1) 組み込みソフトウェアテスト設計のエッセンス
- (2) リアルタイム OS 入門
- (3) 組み込みソフトウェア開発の基礎
- (4) 自動車用機能安全規格 ISO26262 の組込み技術視点からの解説

- ② 平成 22 年 11 月 11 日 於 名古屋国際会議場

「フロンティア 21 エレクトロニクスショー2010」併催

- (1) ものづくり試作支援における機能安全支援ツールの試作と課題
- (2) インテリジェント多機能リレーの試作開発
- (3) 組み込みソフトウェア開発における検証環境の試作開発
- (4) アプリケーション駆動管理プラットフォームの試作開発

- ③ 平成 22 年 11 月 11 日～12 日 於 仙台アエル「AER」

「東北 IT ソリューション EXPO2010」併催

- (1) コンピュータビジョンが拓く組込みアプリケーションの世界
- (2) スマート&グリーン時代の IT
- (3) 組み込み産業イノベーションの方向性

- ④ 平成 22 年 12 月 1 日～2 日 於 パシフィコ横浜 (ET2010 併催)

【テクニカルセッション】

- (1) 自動車機能安全規格 ISO26262 最新解説
- (2) マルチコア時代の並列プログラミングとデジタルテレビにおける実践
- (3) XDDP によるプロセス改善の最前線

■ 組込みシステムに関わるハードウェア技術要素のマップ化

組込みシステムのハードウェア技術要素を検討・抽出し、それぞれの開発工程に沿った「組込みハードウェア技術マップ」を取りまとめるため、第一段階として、ハードウェア技術の現状調査と

定義・位置づけを行った。その成果を発表会で発表したほか、今後の指針を含めて調査研究報告書としてまとめ、公開した。

- ① 組込みハードウェアに関する講演会の開催
- ② 経営面から見た組込みシステムの現状調査報告書の作成

■組込みシステム設計の信頼性・安全性向上に係る手法・フレームの調査研究

情報セキュリティ対策および機能安全について、組込みシステムの技術的側面に焦点を当て、調査研究を行った。その成果を研修会や発表会で発表したほか、今後の指針を含めて調査研究報告書としてまとめ、公開した。

- ① 機能安全に関するセミナーの開催
- ② 機能安全に関する調査研究報告書の作成